

サロニア



不正
寝取らせ夫の
んだ愛情
1

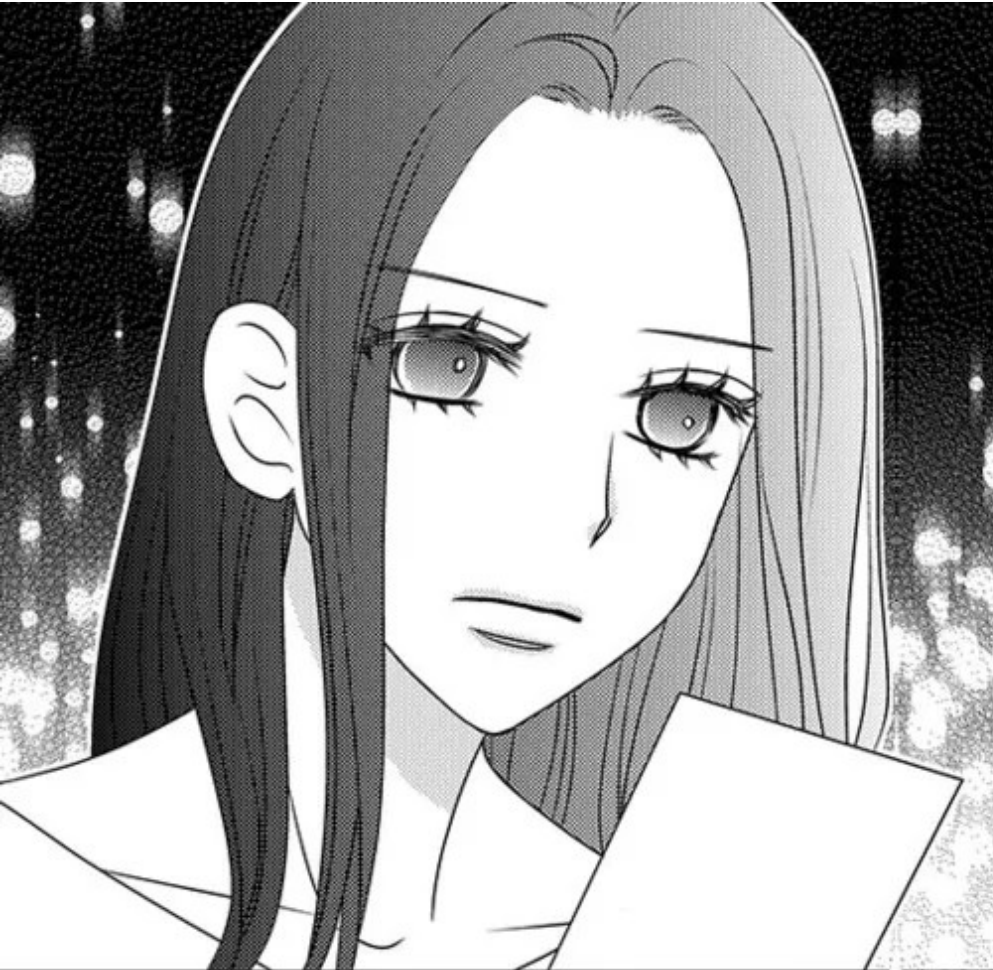
ひなたみわ
Mina Hinata



B ind Up Version 合本版

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

第 1 話



INVITATION

爽やかな初夏の陽光溢れる季節となりました
皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます
このたび 私たちは結婚式を挙げることに
つきましては ぜひ皆様に立会人となって
私たちの門出を見届けていただきたく
人前結婚式を行いたいと存じます
なお 挙式の後は ささやかではございます
披露の小宴を催したいと存じます
おいそがしいなか誠に恐縮ではございますが
ぜひご出席くださいますよう ご案内申し上げます

記

日時
○年○月×日
人前結婚式 午後4時より
披露宴 午後5時より

場所
レストラン○○○○○○
○○○○○
TEL.○○-○○○-○○○○○

お手数ではございますが同封の返信葉
○月○日までにご返信くださいますようお願い

赤ちゃんもさずかりました!
現在5ヶ月ですロ
なつこは真琴ちゃんかな?



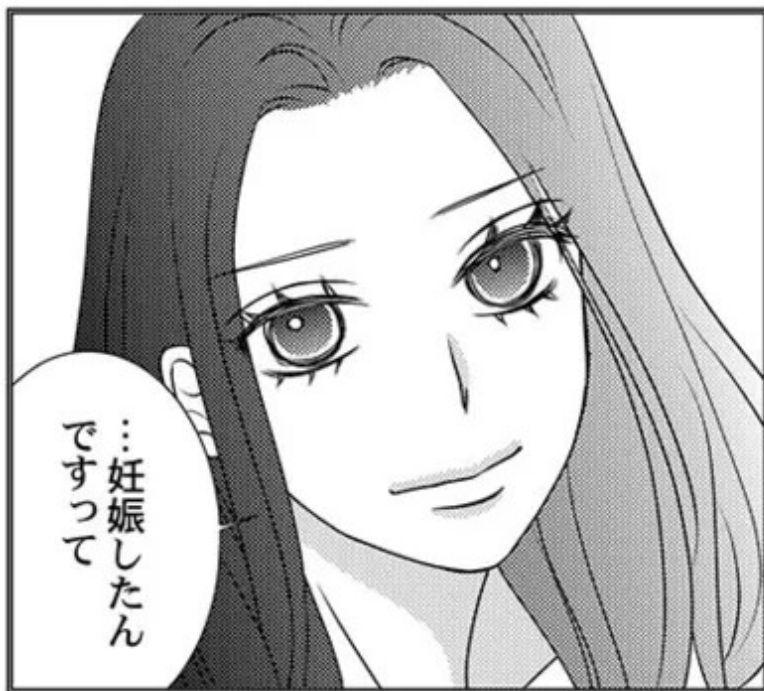
前の
職場の
先輩から

せいしろう
清史郎さん

結婚
パーティーの
お誘いと
あと



誰から?
真琴



：妊娠したん
ですって

「次のママは
真琴ちゃん
かな？」

TEL.00-8
お手数ではござ
30日までにござ

赤い糸もさずかりは
現在5月で可
次のママは東宮

…ママ
だって

…コーヒー
淹れようか

私たちには
関係ない
わね…

結婚して
2年

出会って
からは4年

私たち夫婦は
今まで一度も
セックス
していない

それがいいと
思ってた
結婚した

はず
だった…

真琴さん
もうちよつと
おしやれ
したら？

うらかわ
浦川くん

正解

今朝校了
したばっか

ホント
仕事命っすね…

あたりまえ
でしょう

フリーの
デザイナー
なんて
そのくらいじゃ
ないと

あなたも
やってけ
ないよ？

そうだ今
忙しい？

新しい案件の
コンペがあつて

せっかく
美人なのに

そんな
仕事場から
直接来た
みたいなの…

良ければ
ちよつと
手伝って…

真琴ちゃん！
賢くん！

さかた
坂田先輩

おめでとう
ございます

ステキな
旦那さん
ですね

真琴ちゃんの
旦那さん
ほどじゃ
ないわよお

大手代理店の
やり手で
有能でイケメン！

美人は
トクよねえ

はは…

真琴ちゃんは
子供まだなの？

ああ…
うちは

あまり
考えたこと
なくて

ええー？
もったい
ない

せっかく
女として
生まれたのにイ

ああ…

はは…

ええ？
なんで？

身体の
具合でも
…？

い…いえ
仕事も忙しいし
ふたりの時間を
大事にしたいし…





俺真琴さんは
結婚どころか
恋愛もしないと
思ってたからさ

男なんか
いなくても
ひとりでも
いくんだって



…真琴
さんって

なんで
結婚したん
すか？

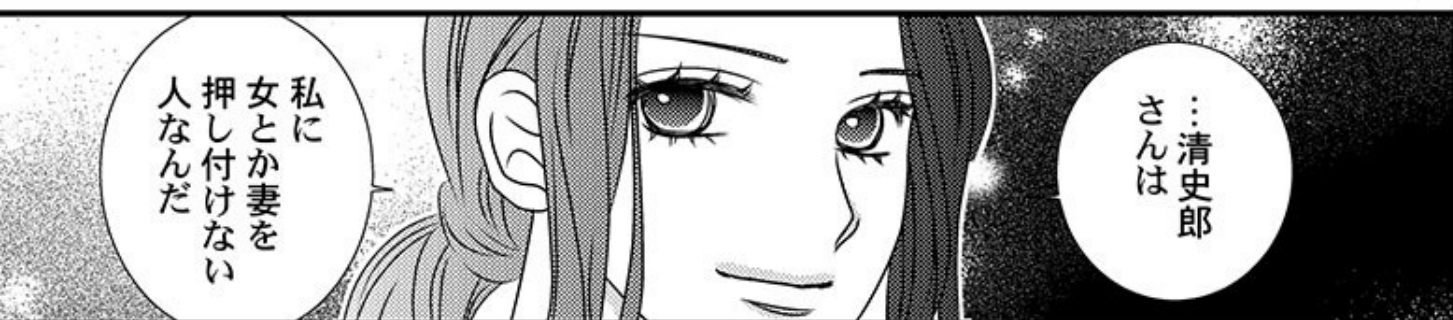
え？



『女』って
本当に
めんど
くさい…

坂田
ちゃん

あつ
はーい



…清史郎
さんは

私に
女とか妻を
押し付けない
人なんだ



それは
絶対ない
だって…



ほんとにいい？
浮気してんじや
ないの？

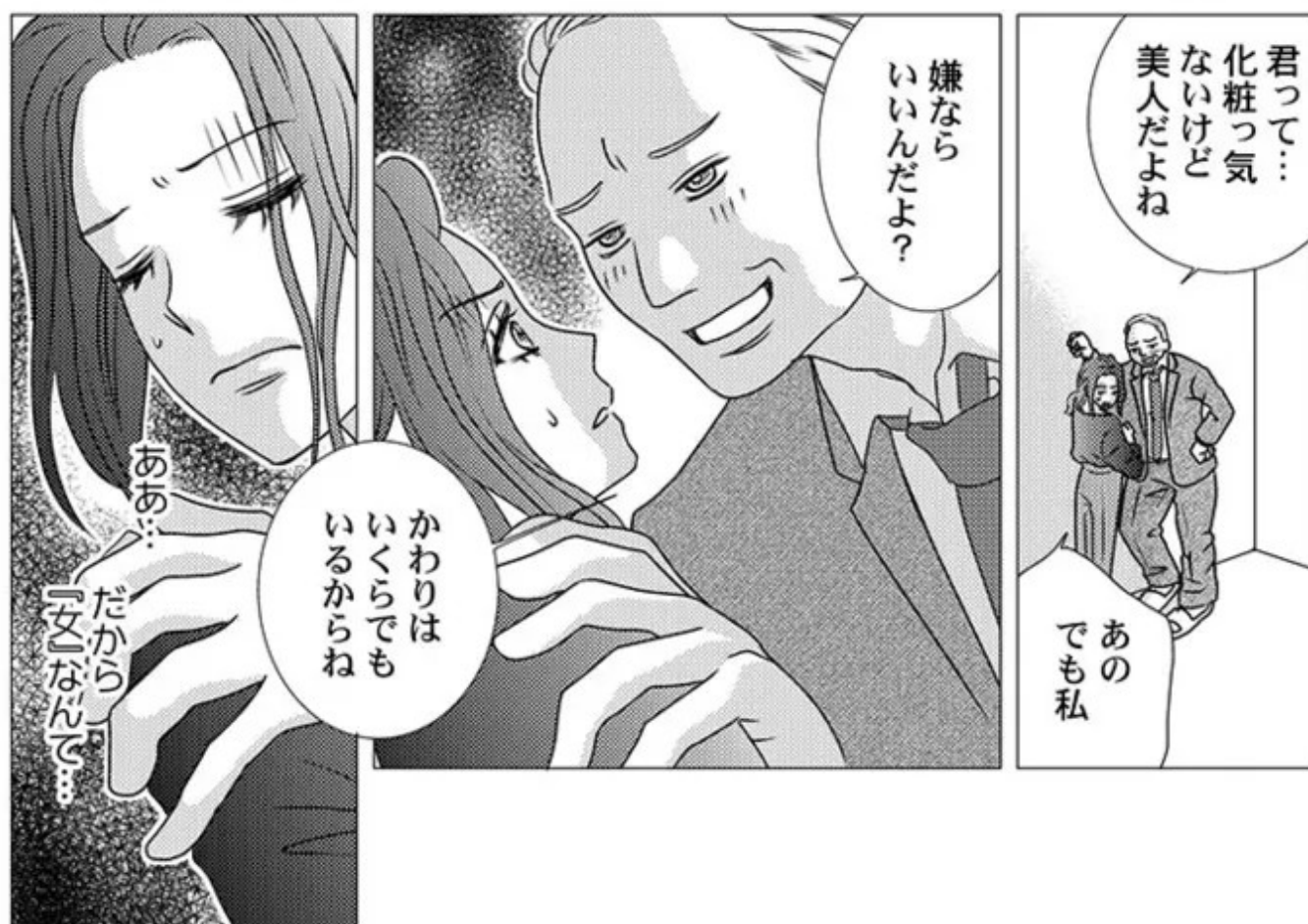


仕事で
1週間
帰らなくても

浮気も
しないし
生活力も
高いし

すごく
自立してて…









悪いのは
こちらです

仕事の
席で
こんな

ごめん
なさい

とんでも
ない



…引き続き
お仕事は
お願い
できますか？

次回から
部下の女性も
同席させます
ので…



愛用させて
頂いてます

…あなたの
デザインした
弊社の
ノベルティの
クリアファイル

じつは…
いつかお仕事
できたらと
思っていました



彼は
有能で
人柄も良く
いつも対等に
接してくれた

もちろん
私を
『女』としても
見なかった

仕事の
打ち上げが
きっかけで

いつしか
ふたりで飲み
に行くよう
になって…

世の中の男が
みんな
井岡さん
みたい
だったらなあ

安心して
仕事できる
のに

いやあ
それは
まずいでしょ

酔ってる
なあ

どうして？
セクハラ
しないし
有能だし
セクハラ
しないし

僕は女性を
幸せに
できないから…

いやあ
違います

なんで？
男性が
好きとか？

じゃあ
なんで？

…私きつと
井岡さんと
だったら

幸せに
なれそう
ないかな
気がするな…

…笛木さん

すみません…
でも私
本気で

…僕は
ダメですよ

私では
ダメですか？

いや
そうじゃ
なくて
僕が

私は
井岡さんが
いいんで…

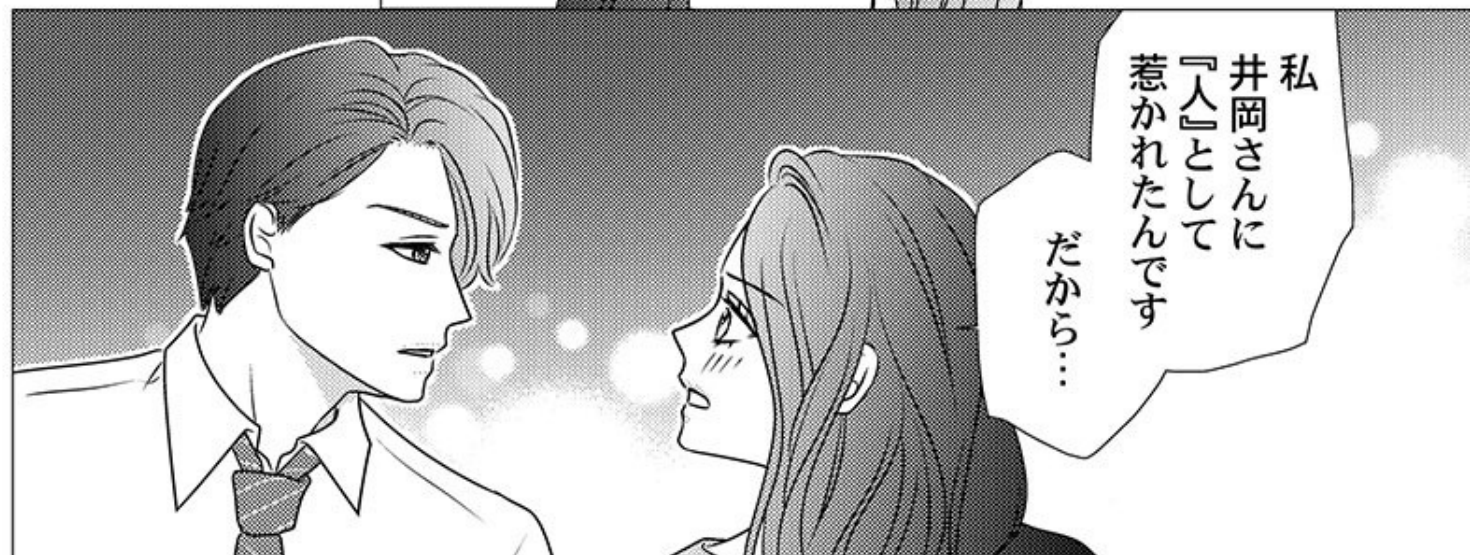
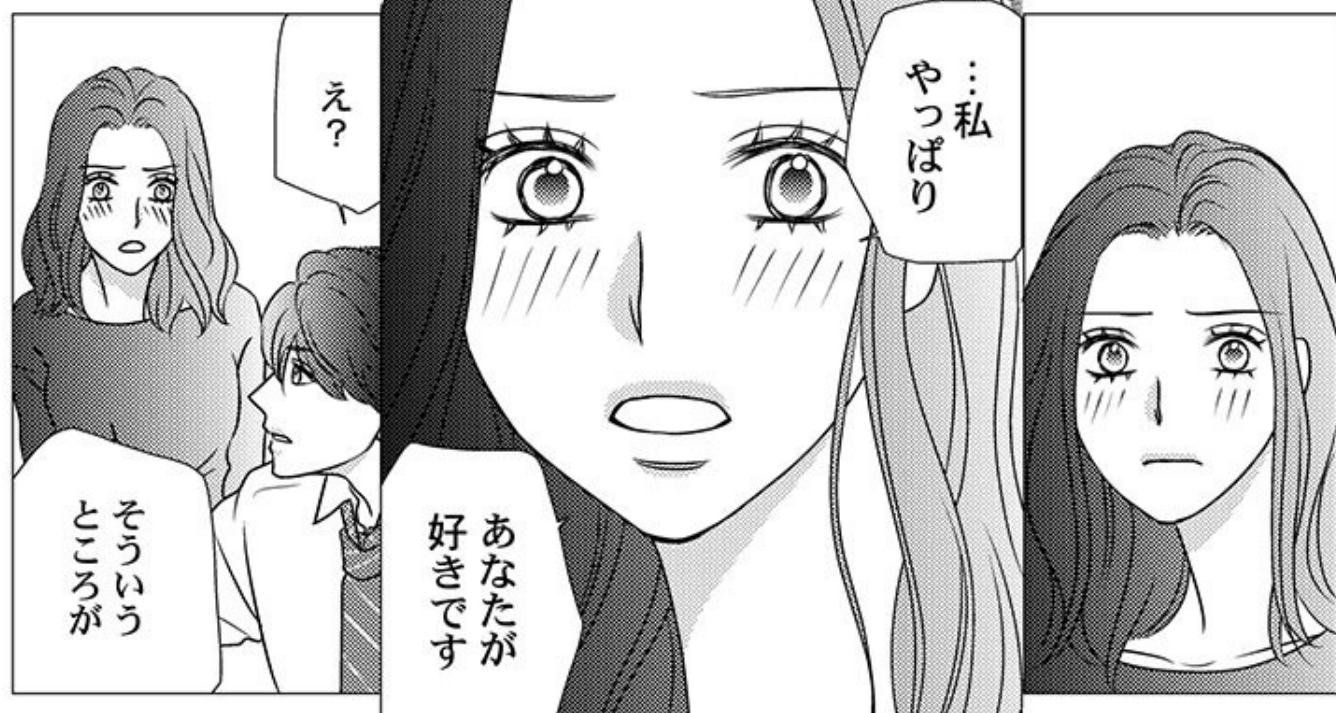
不能なん
です
男として

え？

…EDって
やつで

だから
あなたの
せいじゃない

僕じゃあなたを
幸せに
できないだけ
です



こんな人
ほかにはいない

だから
結婚したのだ

そう思って
いたけど…

ただいま…

風呂
湧かして
あるよ

あ
ありがと
……

おかえり
真琴

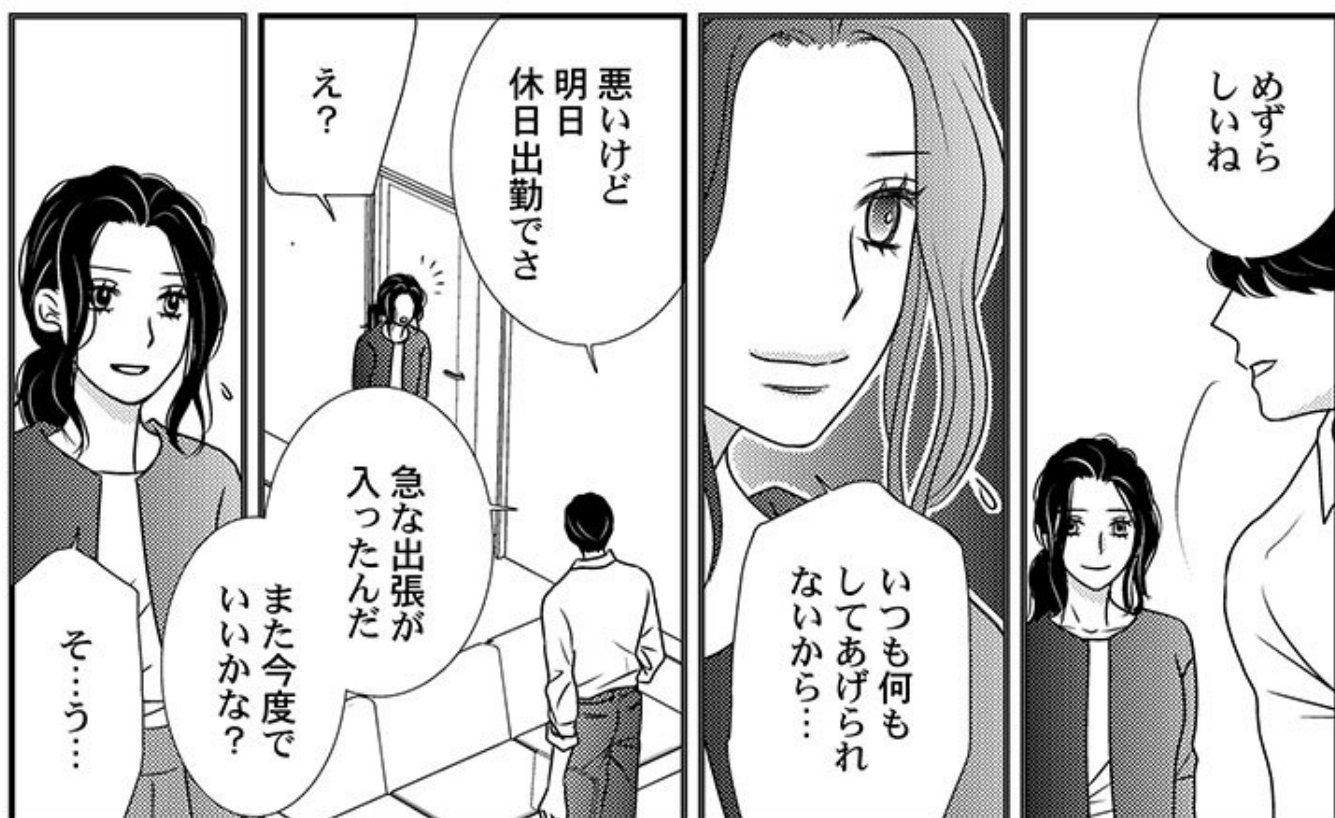
1週間ぶり
だね

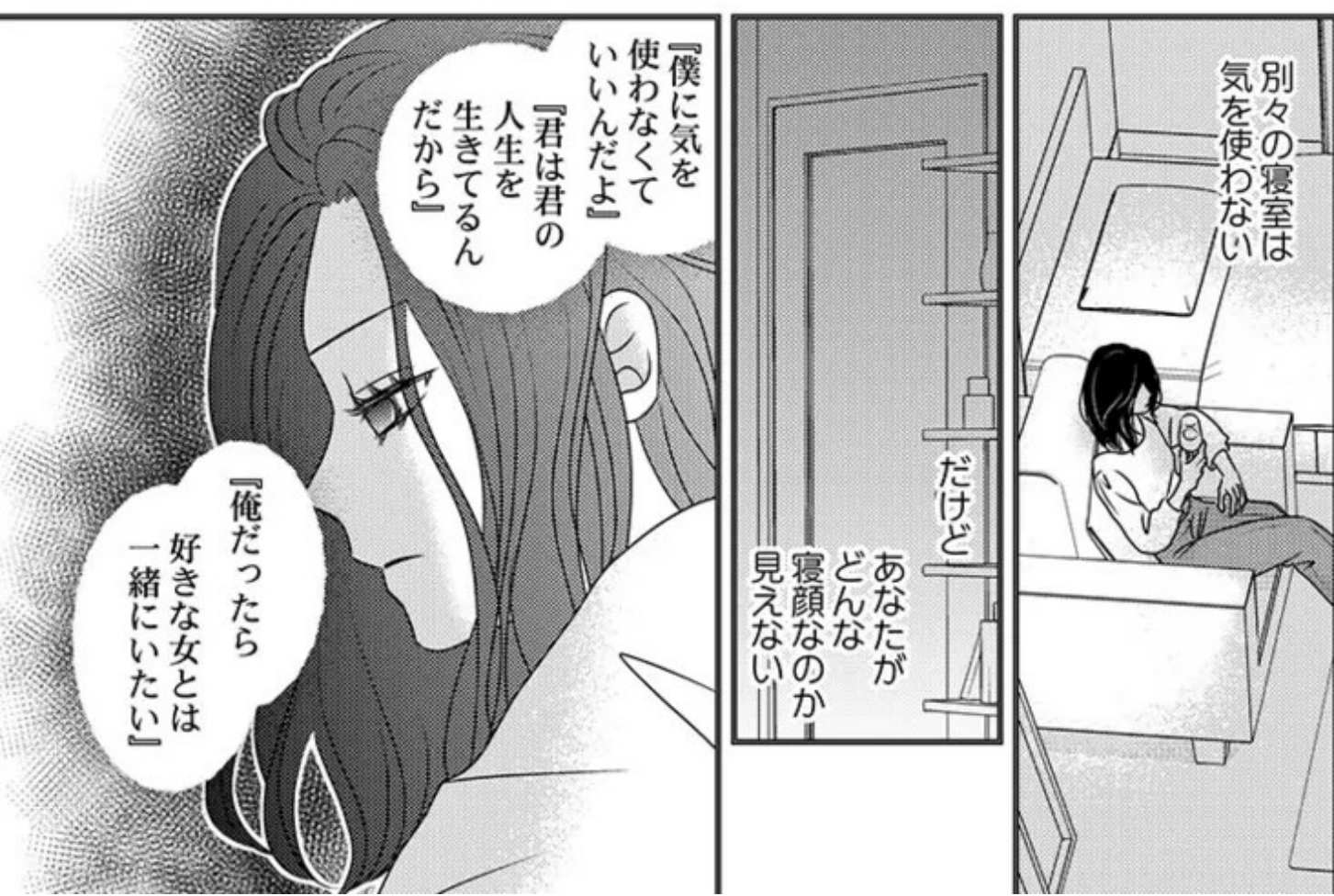
きれいに
整えられた
部屋

…私がいても
いなくても…

ねえ
ワインでも
飲まない？

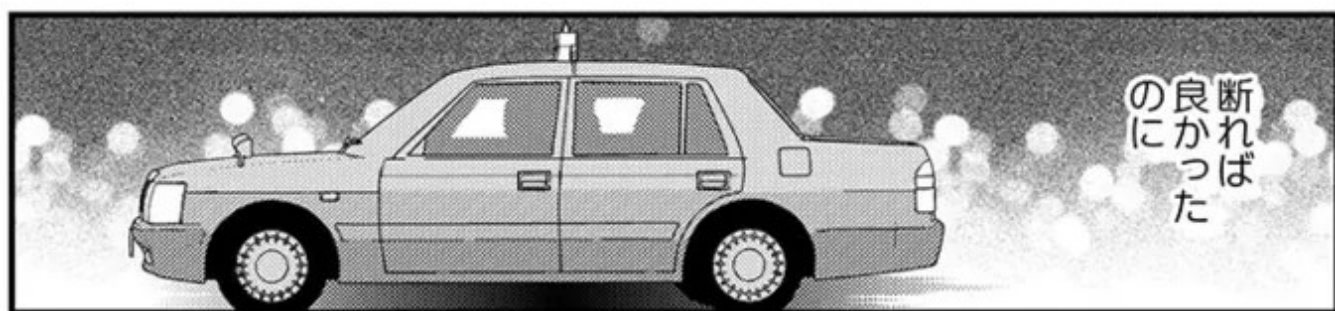
おいしいチーズ
買ってきたんだ

















せ
清史郎さ…



…っ！



急に
どうした
の？



あつ
やめ…

待って



清史郎
さんの…
硬い…？



え…



いいじゃ
ないか

君は僕の
『妻』だろ…？



で…でも
こじや
浦川くんが
起きちゃ…



清史郎さん？
できない
んじゃ…？

んっ
んん…



見せつけて
やればいい

君が
俺のものだって
ことをね

え？！



どうして…?!
EDだった
はずの夫が

彼に
嫉妬して
反応してる…?!



だけど
身体が
逆らえない

だって



清史郎
さんが

私を求めて
いる…?

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

第 2 話



清史郎さんが

私を
求めている…?!



でも
浦川くんが…

せ
清史郎
さ…





あれから
数日

私達は
いつも通り

お風呂
先に
ありがとう

うん

…そうかな

…今夜は
暑いわね

…そうね…

早く服を
着たら
風邪を
引くよ

まるで
何事も
なかったかの
ように

…だけど

…私に
本当は…

あのとき

清史郎さん
勃ってた…

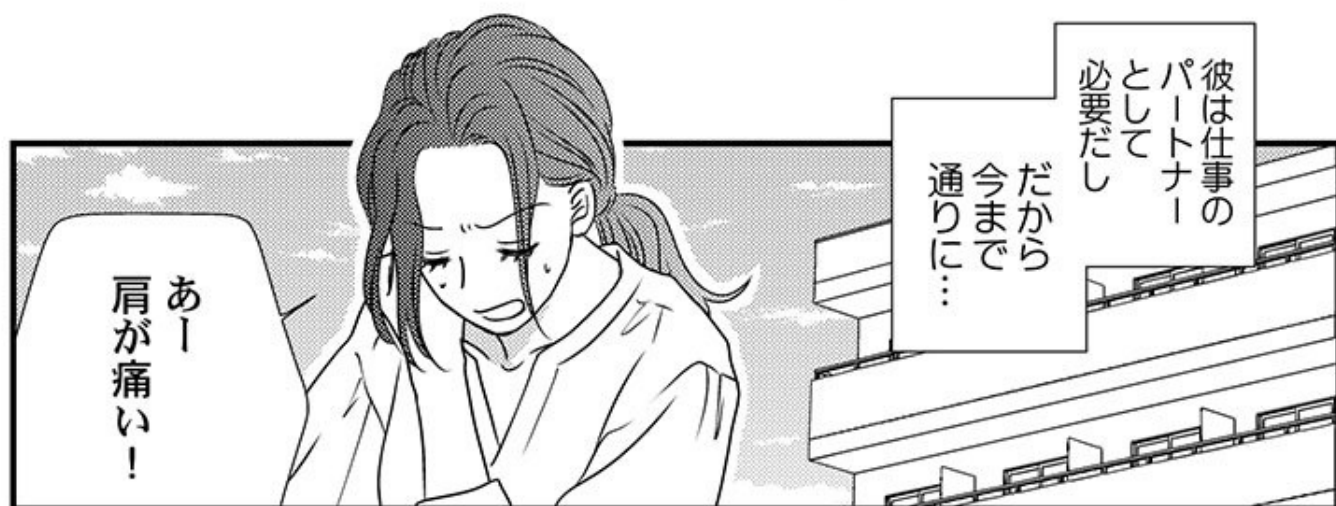
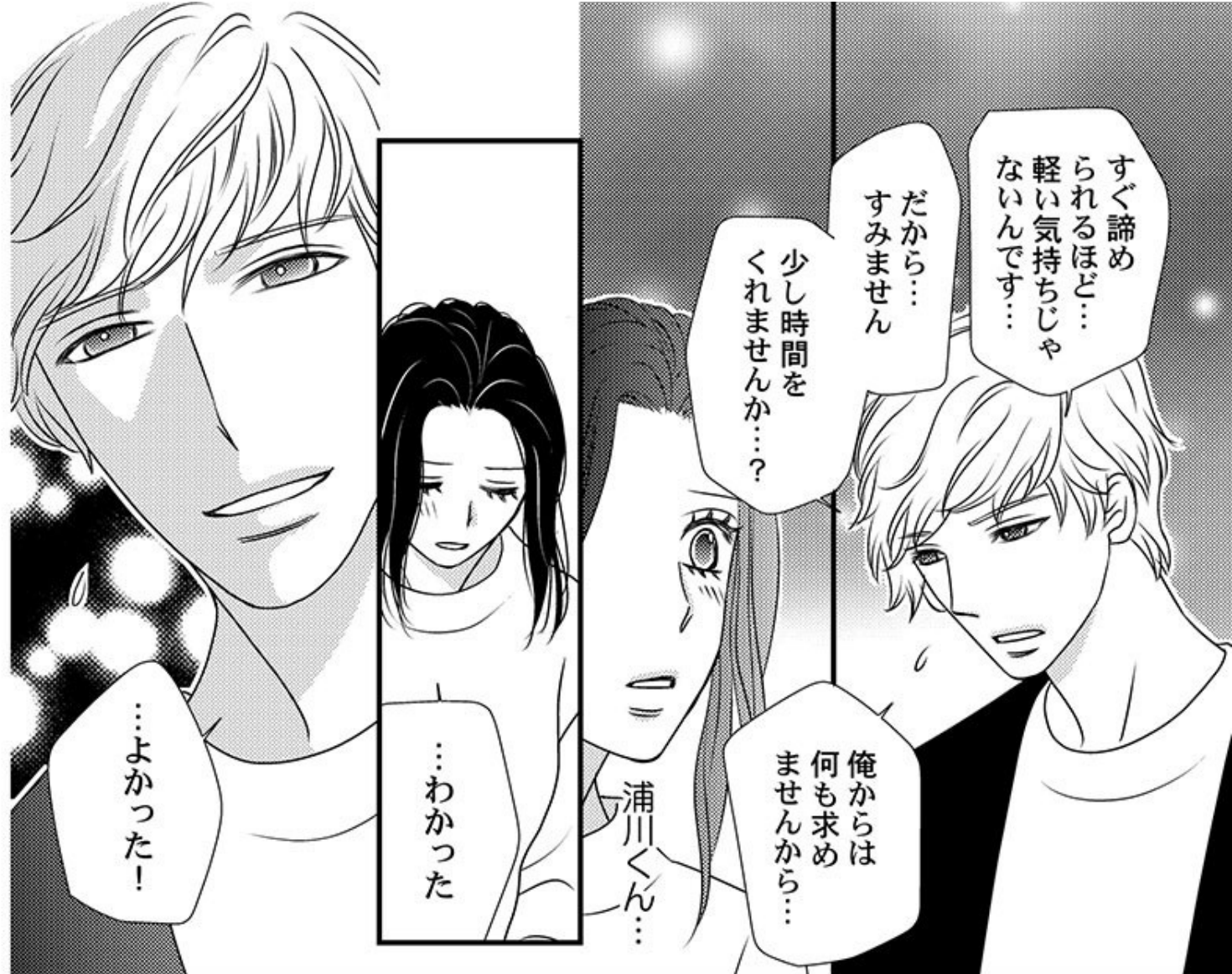
胸が
苦しい

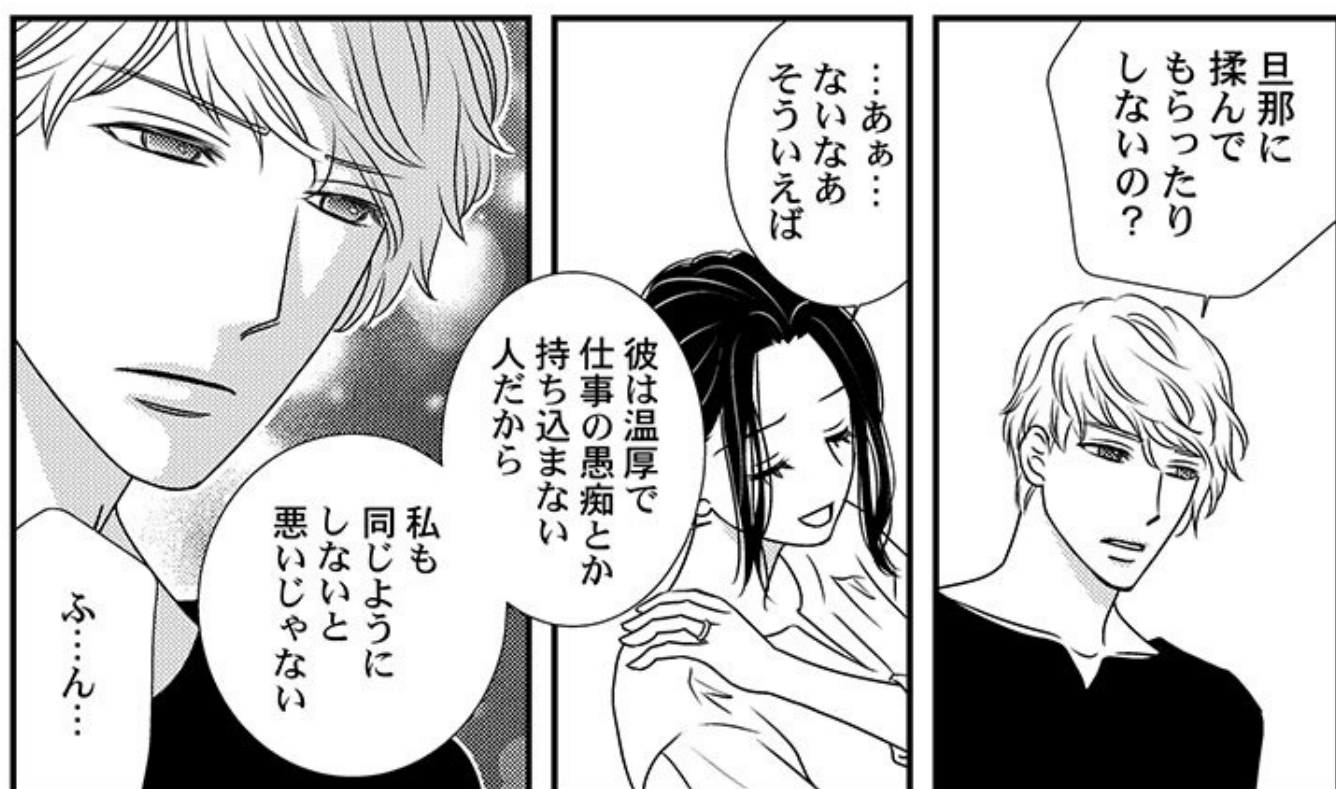
不能って言うのは
嘘だったの？

どうして
あんなに激しく
求めてきたの…？

清史郎さん…











えっ
ちよっ

浦川く…



残りの
仕事は
家でやるんで

じゃあっ



…すみ
ませんっ

俺
今日は
帰りますっ！

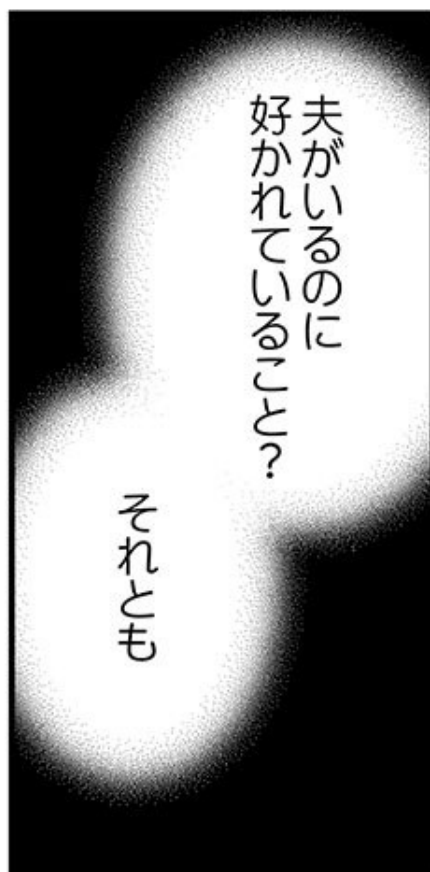


…困った
なあ…

全然
今まで
通りじゃ
ないじゃん



それが
それほど
イヤでも
ないこと…？



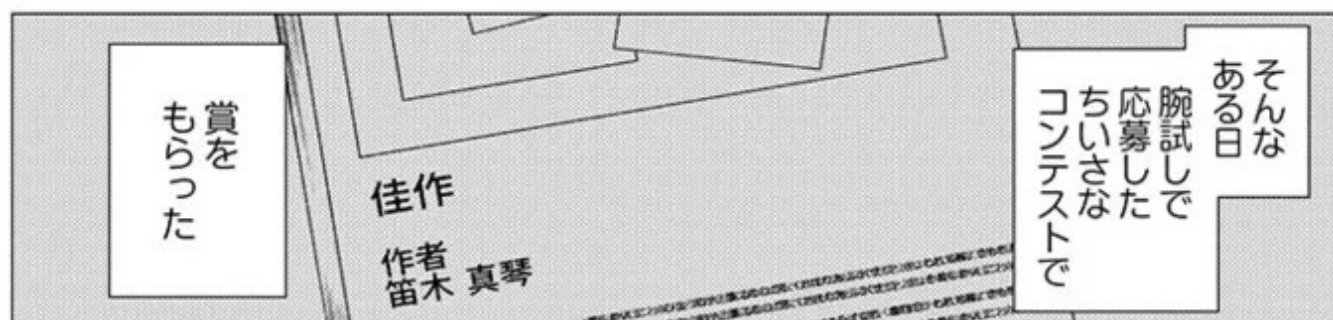
夫がいるのに
好かれてること？

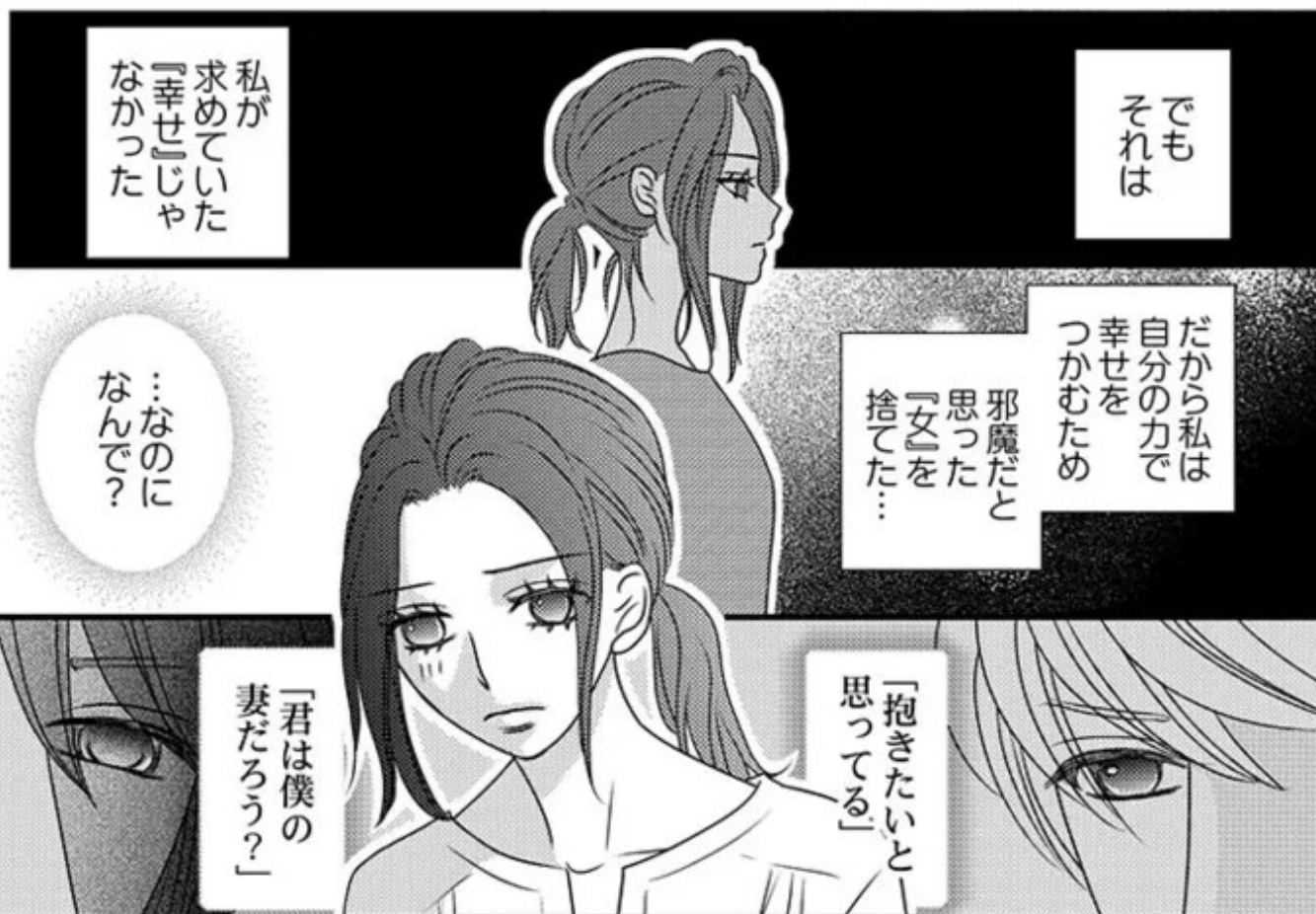
それとも



…困った？

何に？





私…
もしかして
今さら

『女』として
求められたく
なってる…？

「君は
こういう
ことは求めて
なかったね」

もし私が
求めたら

あなたは
私を求めて
くれるの？

あのとき
みたいに…

真琴
まだ
起きてる？

僕はもう
寝るよ
おやすみ

「甘え
られなくて
しんどそう」

あの…
清史郎さん

…こ
今夜

一緒に
眠って…
いい？

え？

ああの
最近忙しい
せいか
ひとりだと
眠れなくて…

…いいけど

あ…

僕のベッドは
狭いし

ひとりの方が
眠れると
思うよ…？

…清史郎さん

眠
っ
て
る
…？

清史郎さんは
朝まで

私の方を
向くことは
なかった



「君は僕の
妻だろう？」

あのときどうして
私を求めたの？

あのときだけしか
求めなかったのは
どうして？

私は

私は
あなたの
なんなの…？

えっ
ほんと？

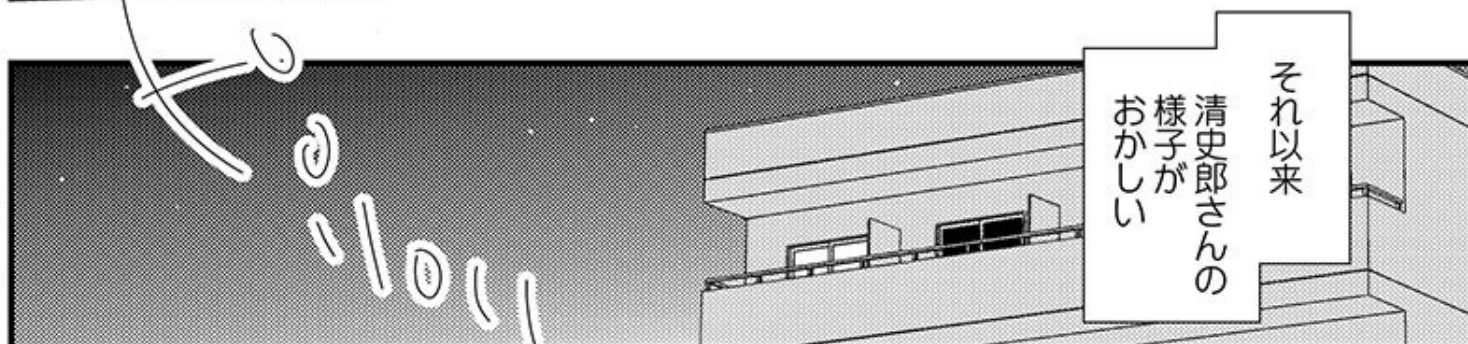
浦川くん

わかった
やりましょ
一緒に
がんばろう

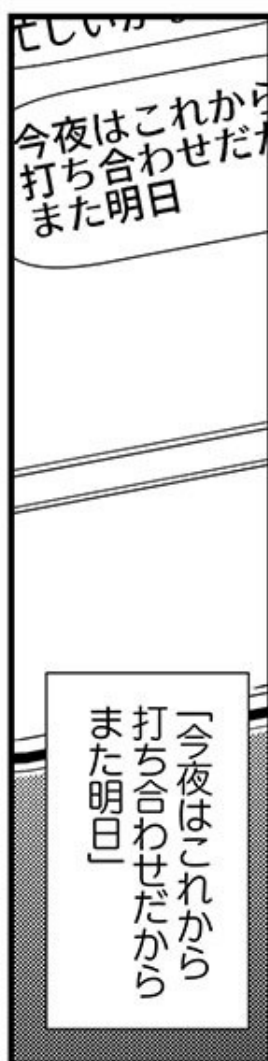




清史郎さん…？



それ以来
清史郎さんの
様子が
おかしい



今夜はこれから
打ち合わせだから
また明日

「今夜はこれから
打ち合わせだから
また明日」



私が仕事で
帰らないと

異常なくらい
様子を
伺ってくる



いまは仕事場？

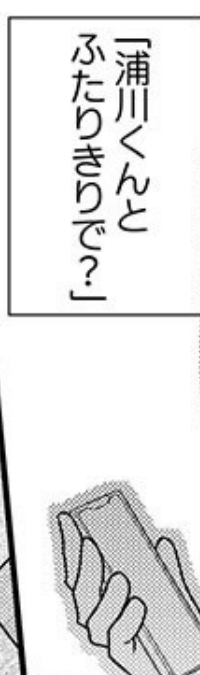
一人？それとも
誰かというの？

今日も
帰らないのかな？

忙しいかな？



もしもし
清史郎さん？



「浦川くんと
ふたりきりぞ？」



ああ真琴

どうしたの？
こんなに
送られても

悪いけど
今から
打ち合わせで
返せないから



え？！



しばらく
送らないで…

じつは今
そっちに
向かってて



な…?!

…僕が
抱けない
からって
他の男と

ちっ
ちがうわ!!

いいかげんに
して!!

あなた
こそ!!

あのとき
不能じゃ
なかった!!

なのに…
あのとき以外
指一本
触れない
じゃない…?

どうして?!

何を
考えてるの?!

私を
どうしたい
の…?!

…知りたい?

じゃあ…

あの男に
抱かれて
くれないかな?

え?!

あの夜君が…
あいつと
抱き合ってたのを
見たとき

すごく…
色っぽくて…

突然…
君が欲しく
なったんだ

不能なのは
嘘じゃない

だけど…
僕が興奮
するのは
人とは少し
違って…

愛する
ひと
女が…

他の男に
奪われそうに
なっている
姿を見ると

苦しくて…
愛しくて

たまらなく
なるんだ…

な
何言っ

ねえ真琴
僕が欲しいなら

あの男に
抱かれてよ

誰かに抱かれて
感じる君を
見せて…

清史郎さ…?!



真琴…
愛してるよ



わかってる
よね？



真琴さん？



真琴さん？
カギ開いて
たよ？

不用心
だ…

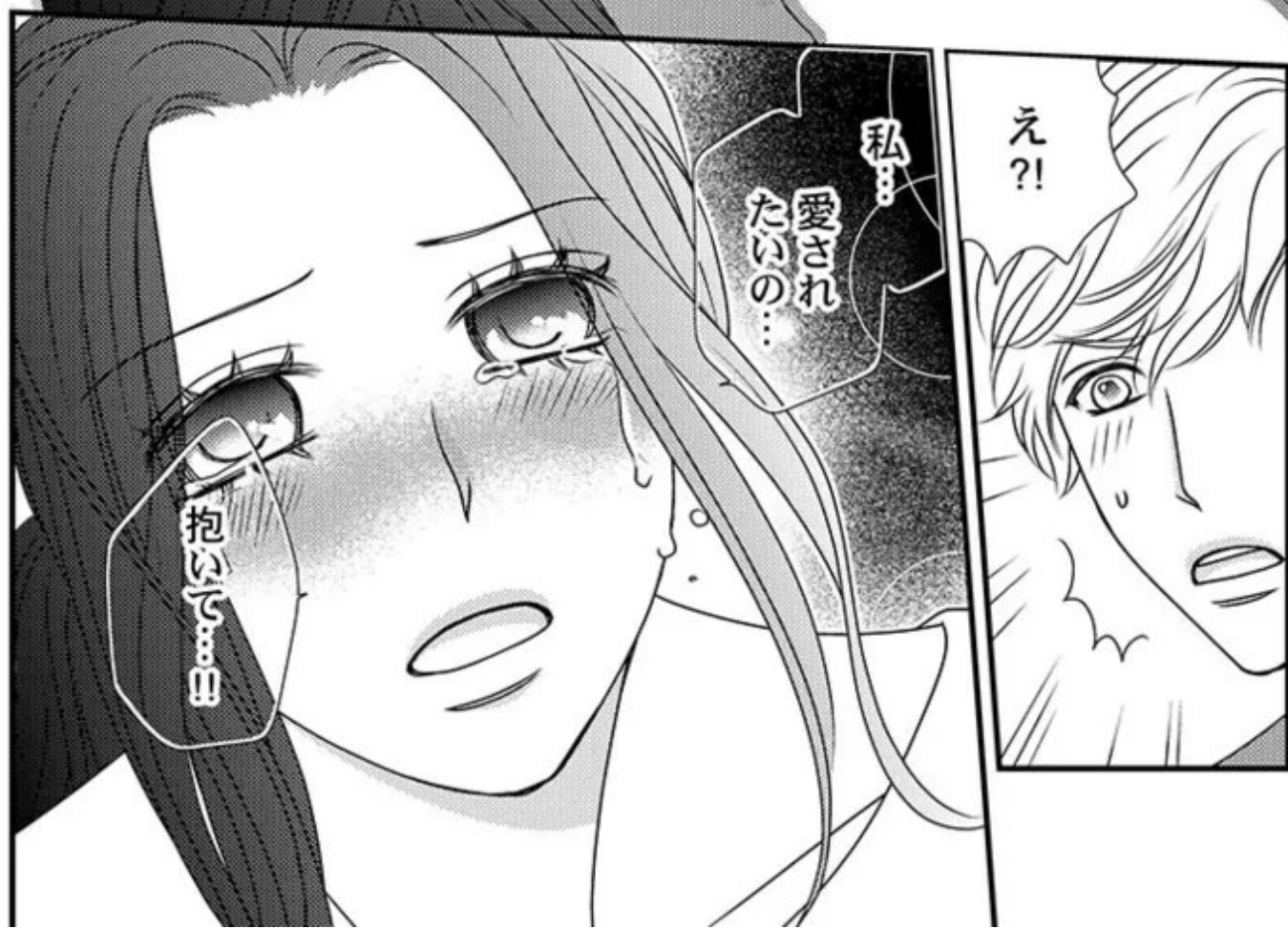


ちよつと
休んだら



どうしたの？
顔色が
悪いけど…







夫の
目の前で

別の男に
抱かれる
なんて

あ…ん

浦川
く…

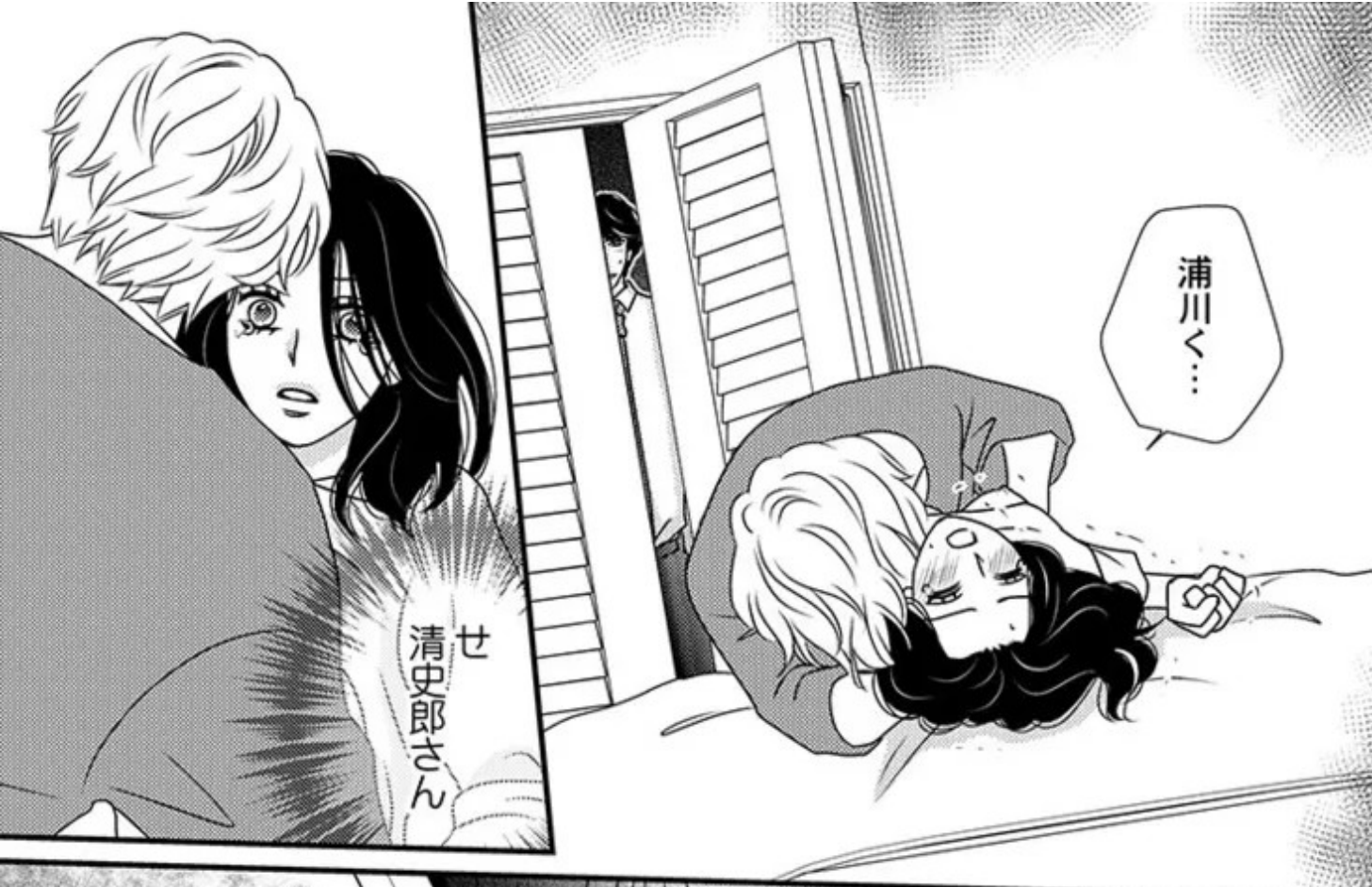
せ

清史郎
さん…!!

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

第 3 話





真琴?!



やっぱり…
私

できな…



ごめん…っ



…何を
している



ちがう!

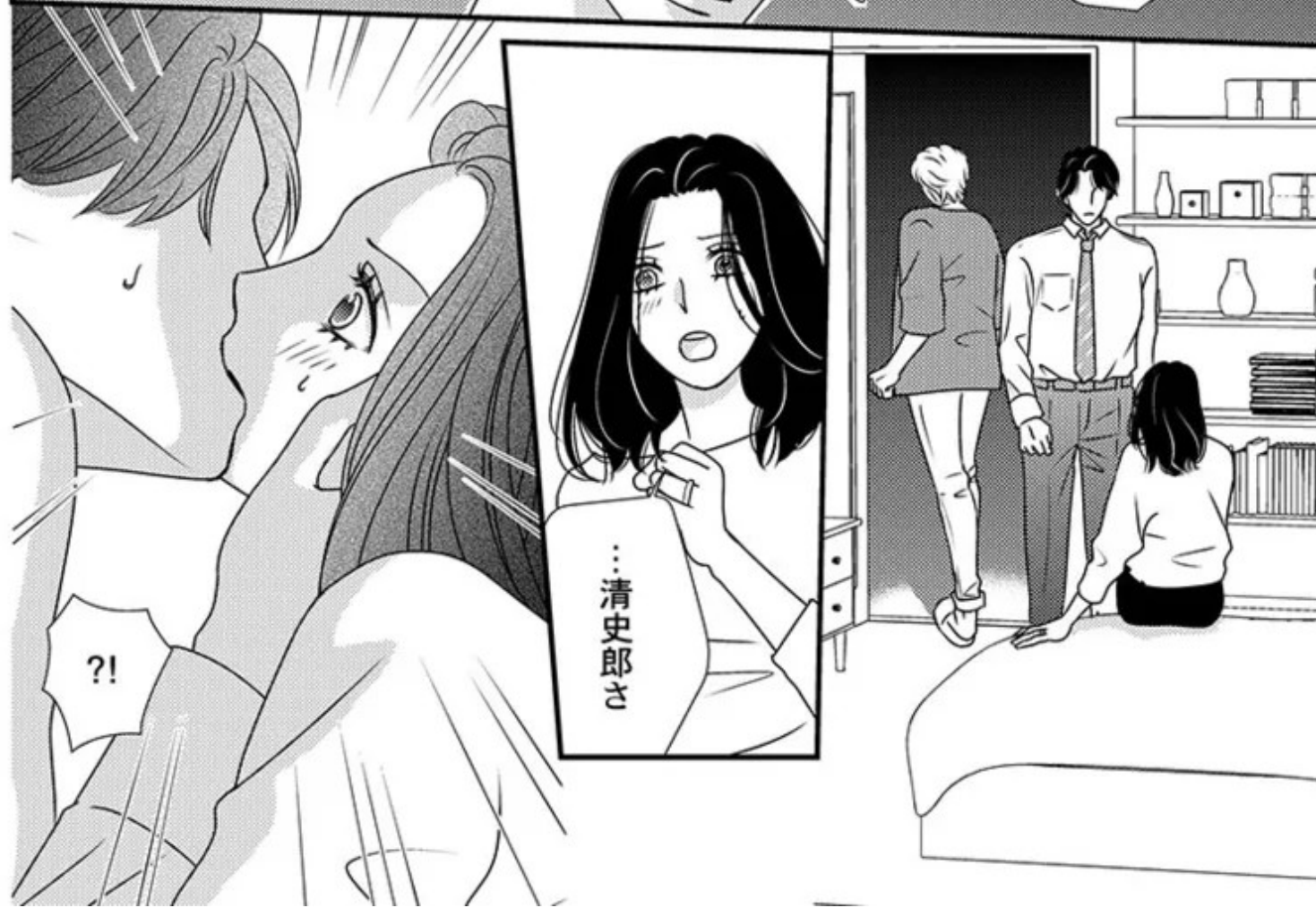
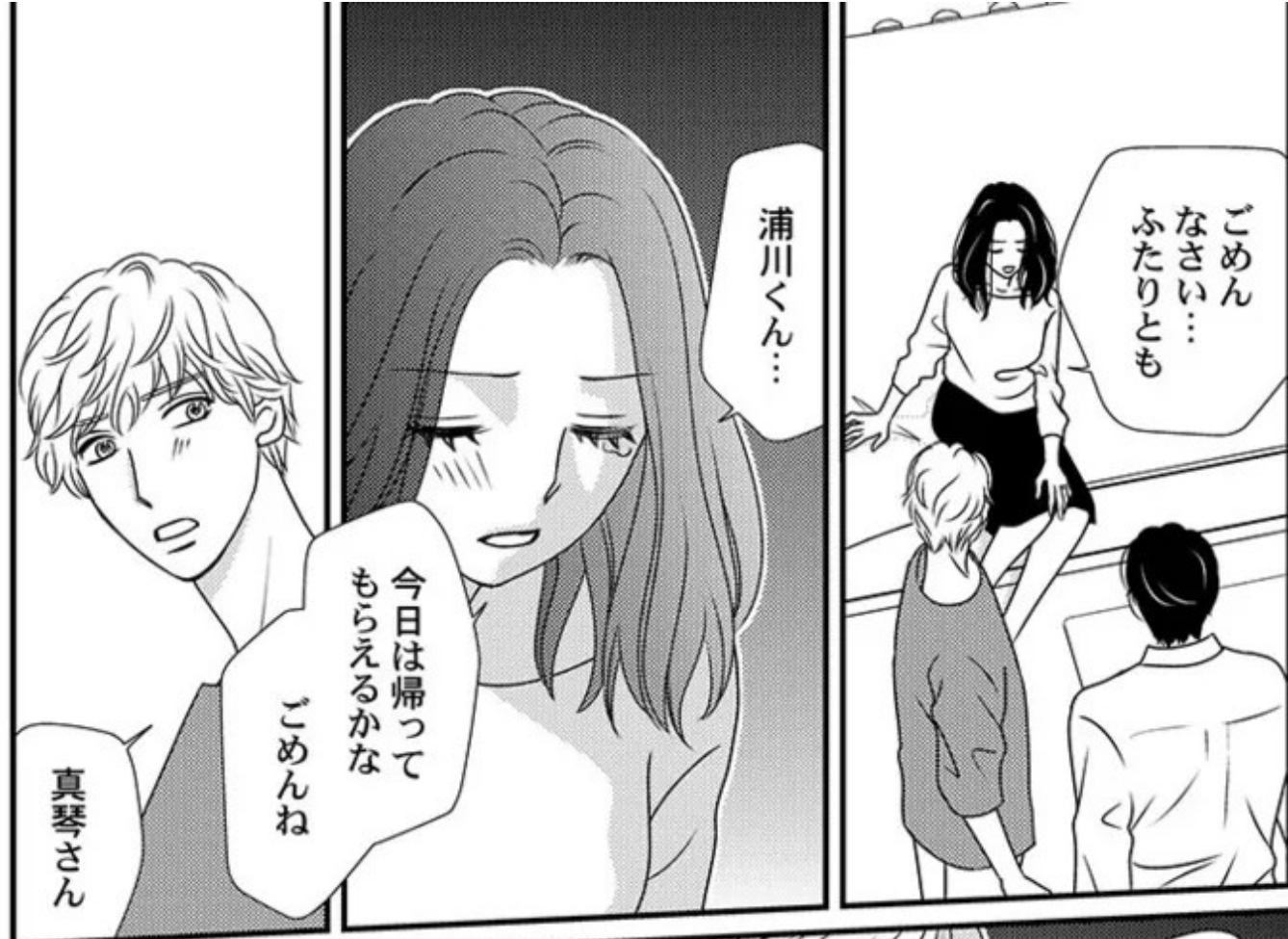
俺が無理やり
押し倒したん
です!



…浦川くん

これは
一体…?









違う…

こんなの
違うわ…!



やめてっ!!



…そうだな…

すまな
かった

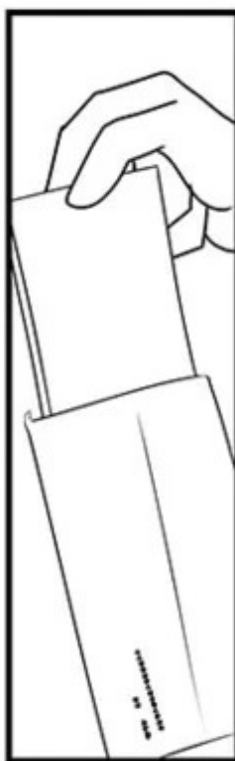
真琴…



別れてくれ







清史郎さん…

私が他の男に
抱かれなければ

彼は私を
求めてくれない

そんなの…
無理…

彼だけに
抱かれないのに
彼以外の男に
抱かれるなんて

異常よ
そんな

そんな
性癖…

私には
無理

でも

なぜ
だろう

彼に恐怖も
憎しみも
感じないのは





女で良かった
って絶対
思わせるのに

真琴さん
あんま
思ったこと
ないでしょ？

え？

ああ…
まあ

男の…

幸せ…

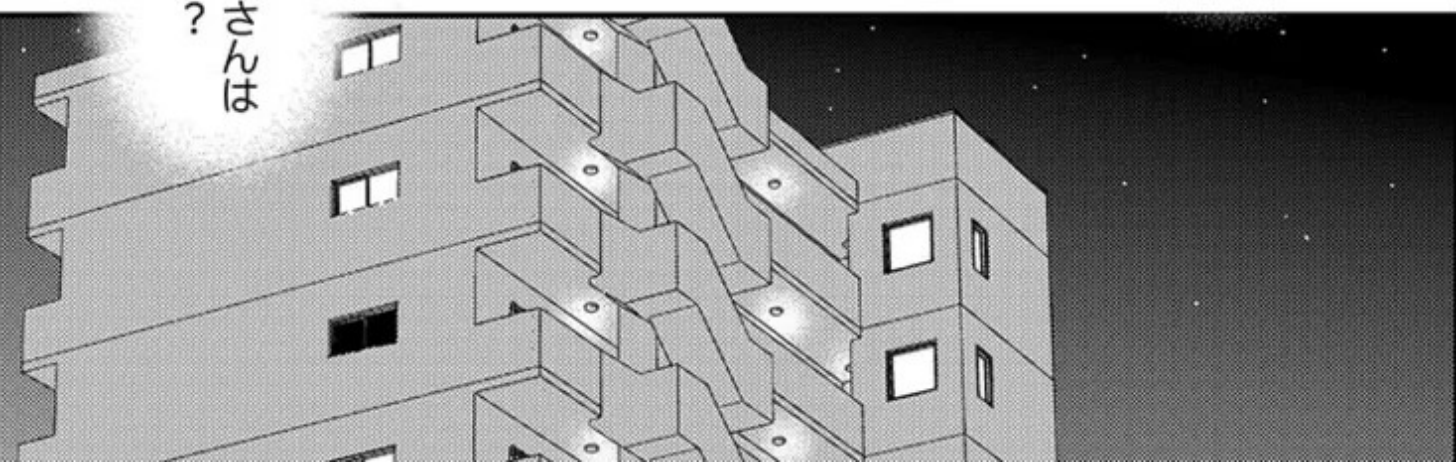
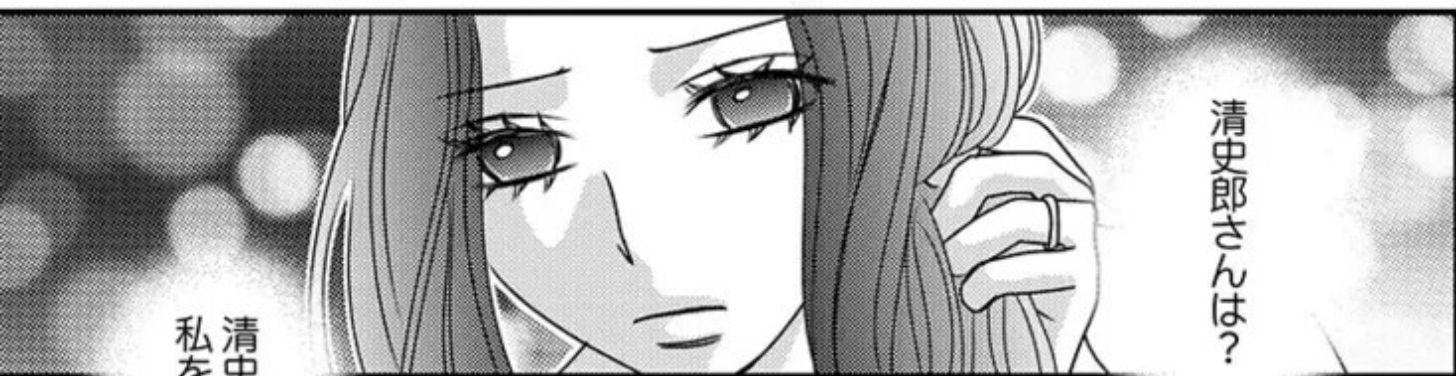
優しいのね

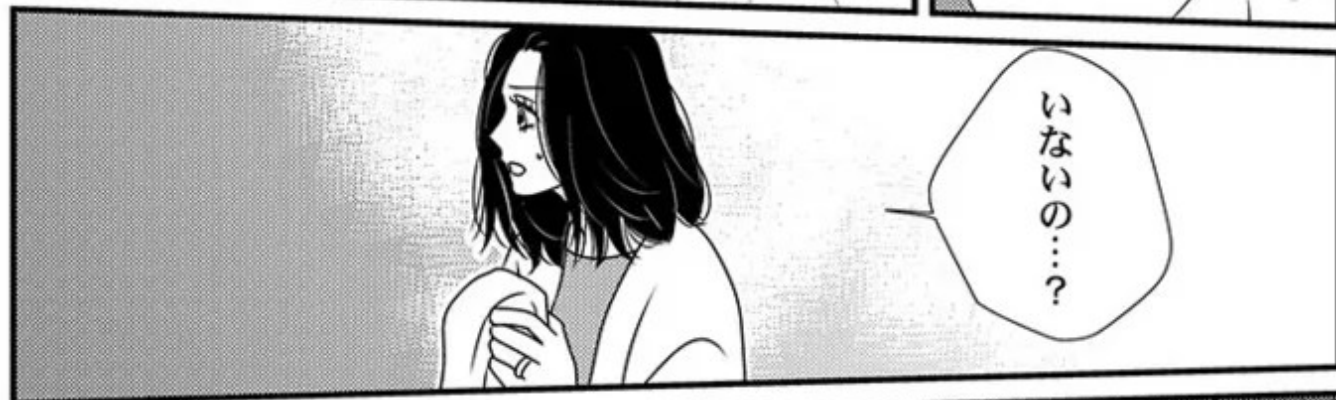
…ねえ

なに？

好きな女を
幸せに
するのが

男の幸せ
なんだよ







…真琴？





家具は
好きなものを
持っていつて

また…
笑顔…

清史郎さん

…断りなく
出してくれて
良かったのに

これ…

離婚

伊

…どうして
笑うの？







でも…
それでも

私は…
やっぱり…

あなたを
愛してる…



いつも温厚で
優しい笑顔で

本音を
見せないのは

誰かを
傷つけたく
ないからだわ



私は
あなたの

そういう
不器用な
優しさに

惹かれたの…



どうして
俺の心に入
って
くるんだ…?!

俺は君を
傷つけたく
ない

君を幸せに
できない

だから
俺は

なのに…
なんで…





愛してる…



清史郎さ…

すまない…
真琴

すまない…



彼の愛し方は
歪んでいる

私を
傷つける



だけど
私は

そんな
不器用な
夫を

愛している…



たとえ
あなたと

『女』として幸せに
なれなくても



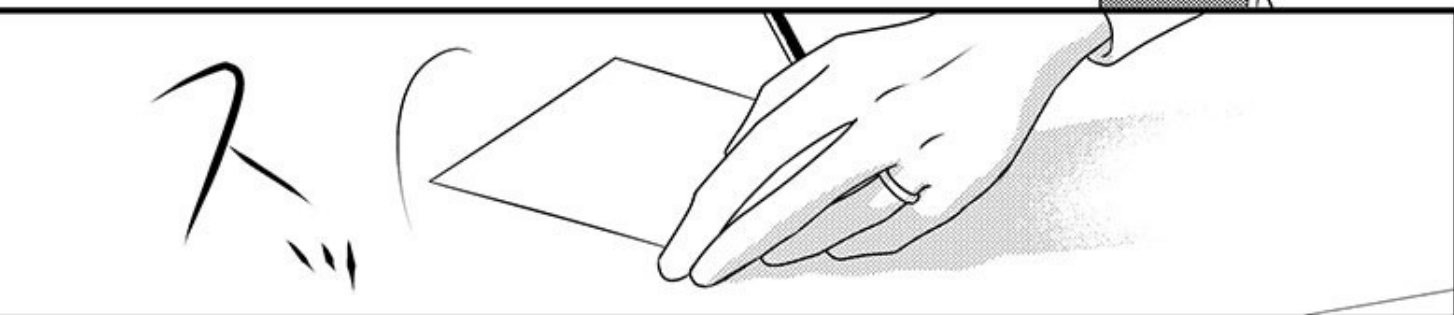
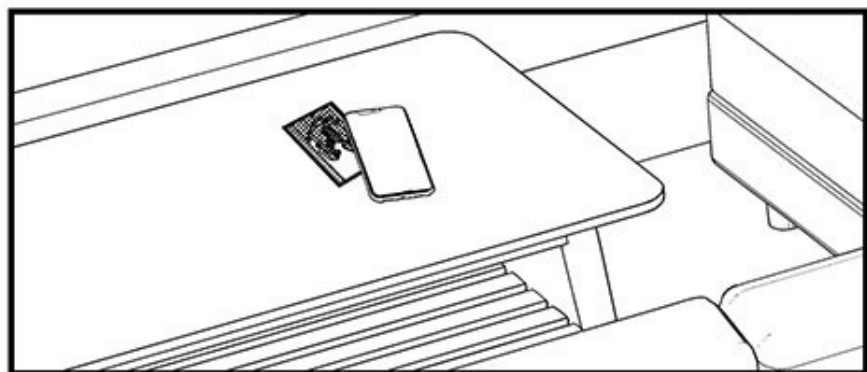
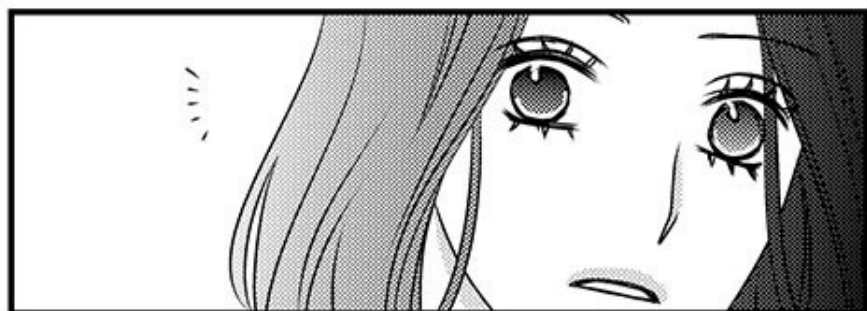
そう
思っていた

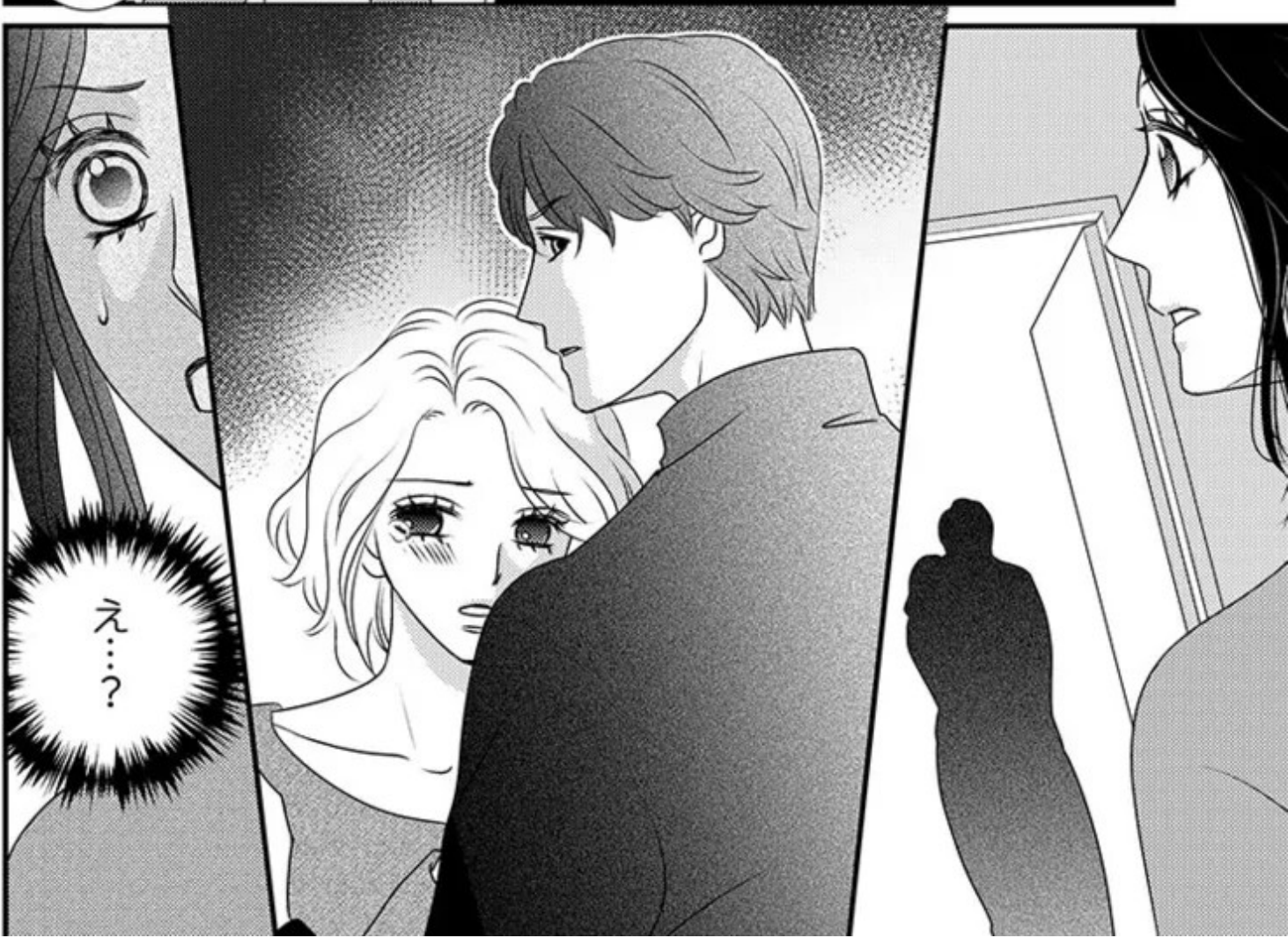
まだ
彼の過去を
知らなかった
から…

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

第 4 話







ど
ど
なた…

あなたが
清史郎の…？



とにかく
今日は
帰ってくれ

待って
まだ話は

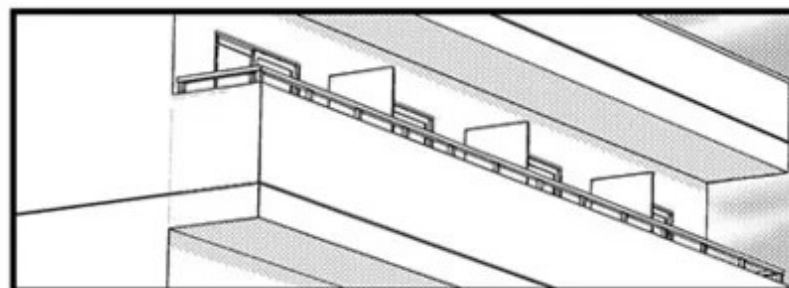
いいから！



え
ああ
仕事が早く
終わって…

…いつもより
早かったね

あの人は
いったい…？



ご両親は
亡くなって

一人っ子だから
お墓も処分した
とは聞いた

結婚式も
無駄だから
挙げなかつたし

婚姻届も
清史郎さんが
全部揃えて
出して
くれたのよね

あのときは
忙しくて
甘えちゃって

だから
戸籍も
見てなくて…

…きれいな
人だったな

『遠い
親戚だよ』

いったい
誰なん
だろう…?

『いつもより
早かったね』

それって
もしかして

私がいけないとき
を狙って…?

聞いてる?



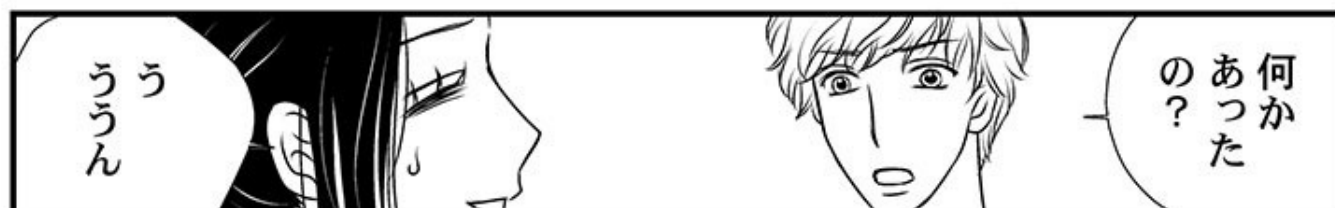
どうしたの？
真琴さん

今日はすげー
凡ミスばっか



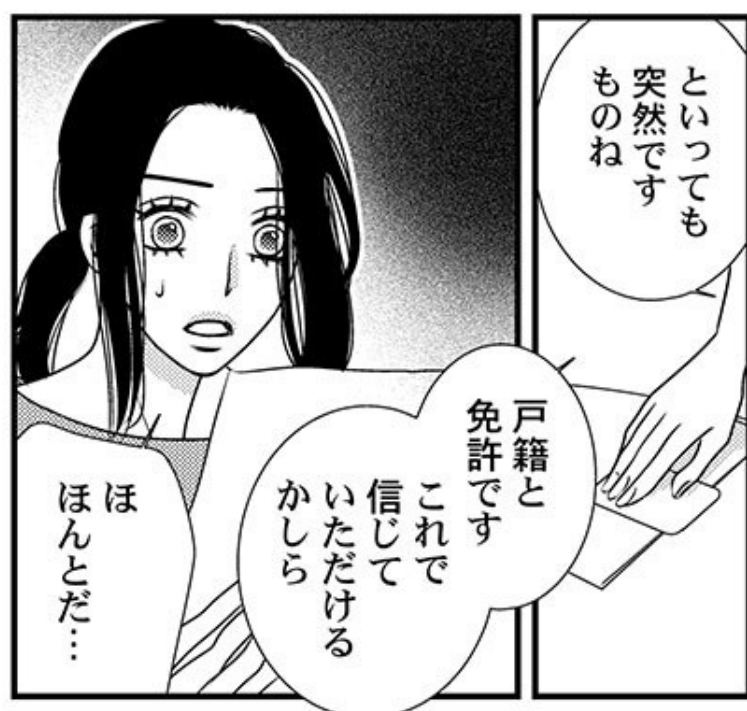
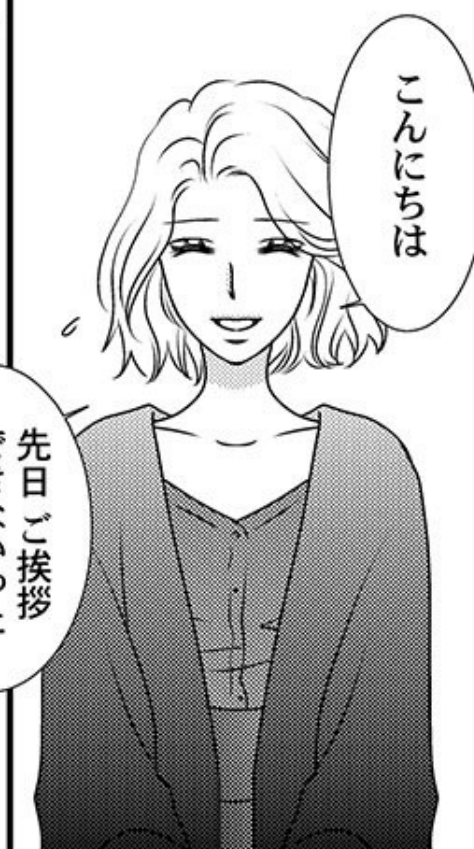
え？
あつ

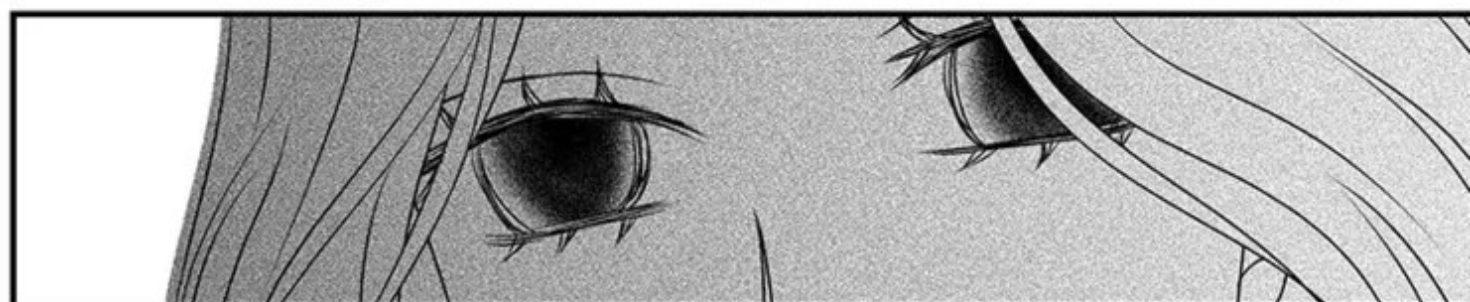
ああつ!!
ほんとだ!!

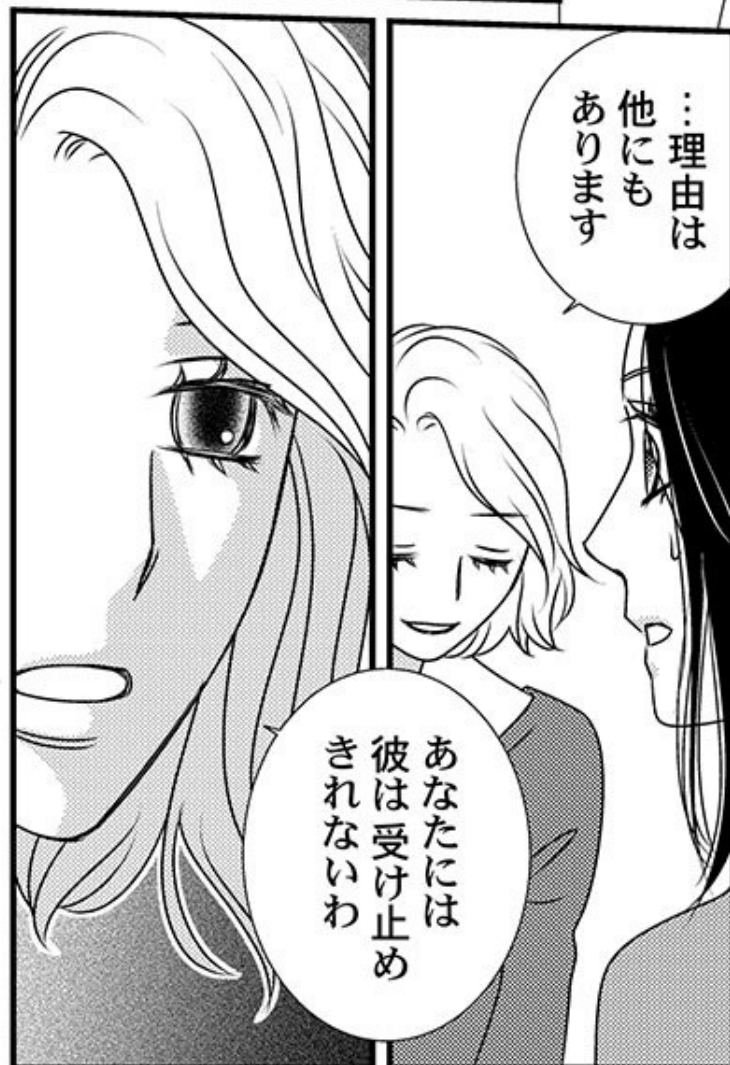


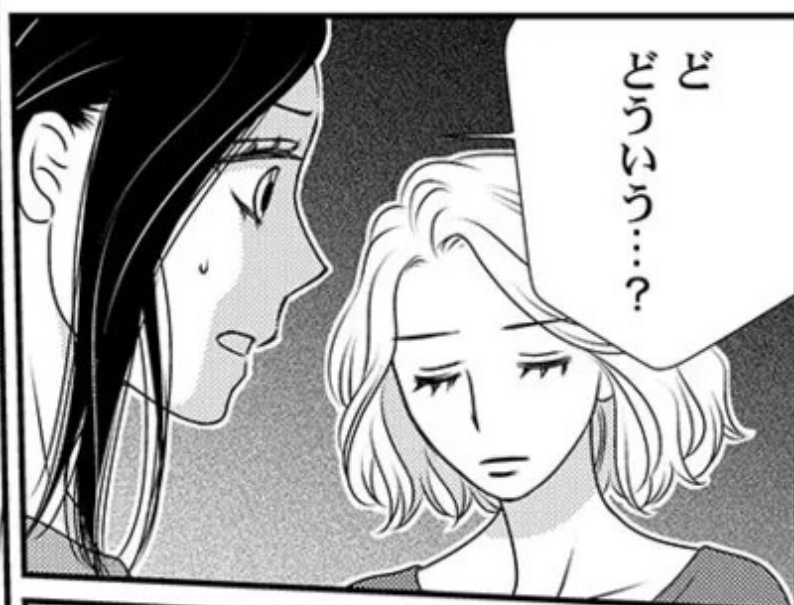
う
うん



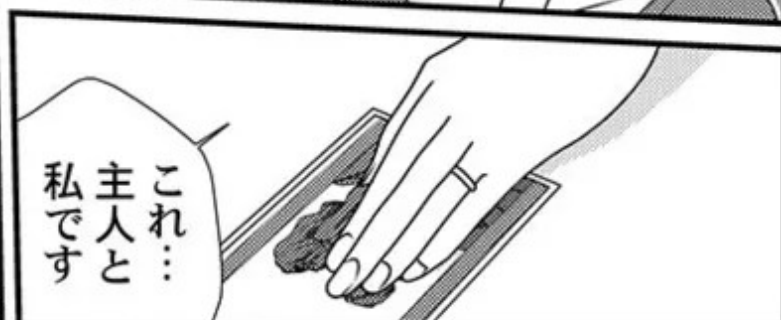








ど
ど
うい
う…?



これ…
主人と
私です



彼は…
毎晩わたしたちを
覗いていたの

……
!?



撮ったのは…
清史郎…

え?
?!



…恥ずかしいの
だけれど

彼は私を
愛しているの

継母である
私を…

な…

彼が
おかしく
なったのは

私のせい
なんです

だから…
異常な
彼の愛を

どういう
ことですか?!

ちよつと
さつきから

全然
わからないん
ですけど

彼の
愛をつて？

何を言つて
るんですか？

いったい
どうやって？

あなた
彼の母親…

受け止めて
あげられるのは
私しか
いないんです…

…そのまま
ですわ

私
彼が家を
出てから
ずっと
後悔して
いたんです

家を
護るために
必要なら

全て
受け止めるのが
私の役目

受け止めるべき
だったの

あのとき
清史郎の
愛も

だから…

私を…
彼のものに
してあげたい

え…?!

真琴さん？

う 浦川
くん

なかなか
帰ってこないと
思ったら
知り合い？

あ…えつと
その

…また
来ますわ

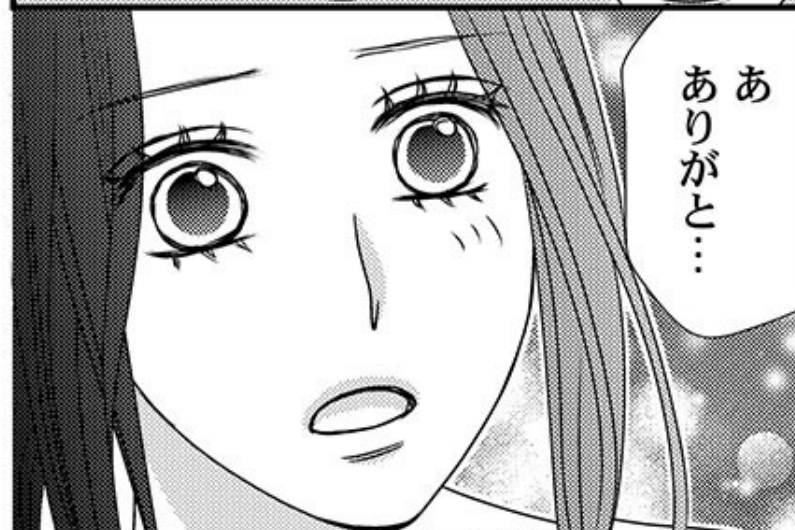
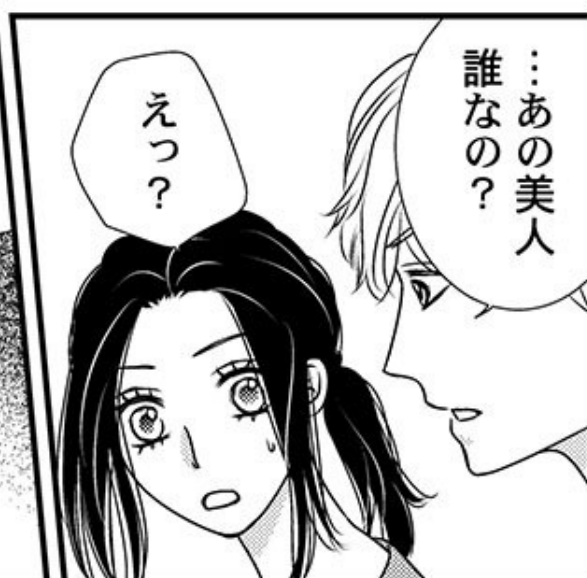
いったい
どういう
ことなの？！

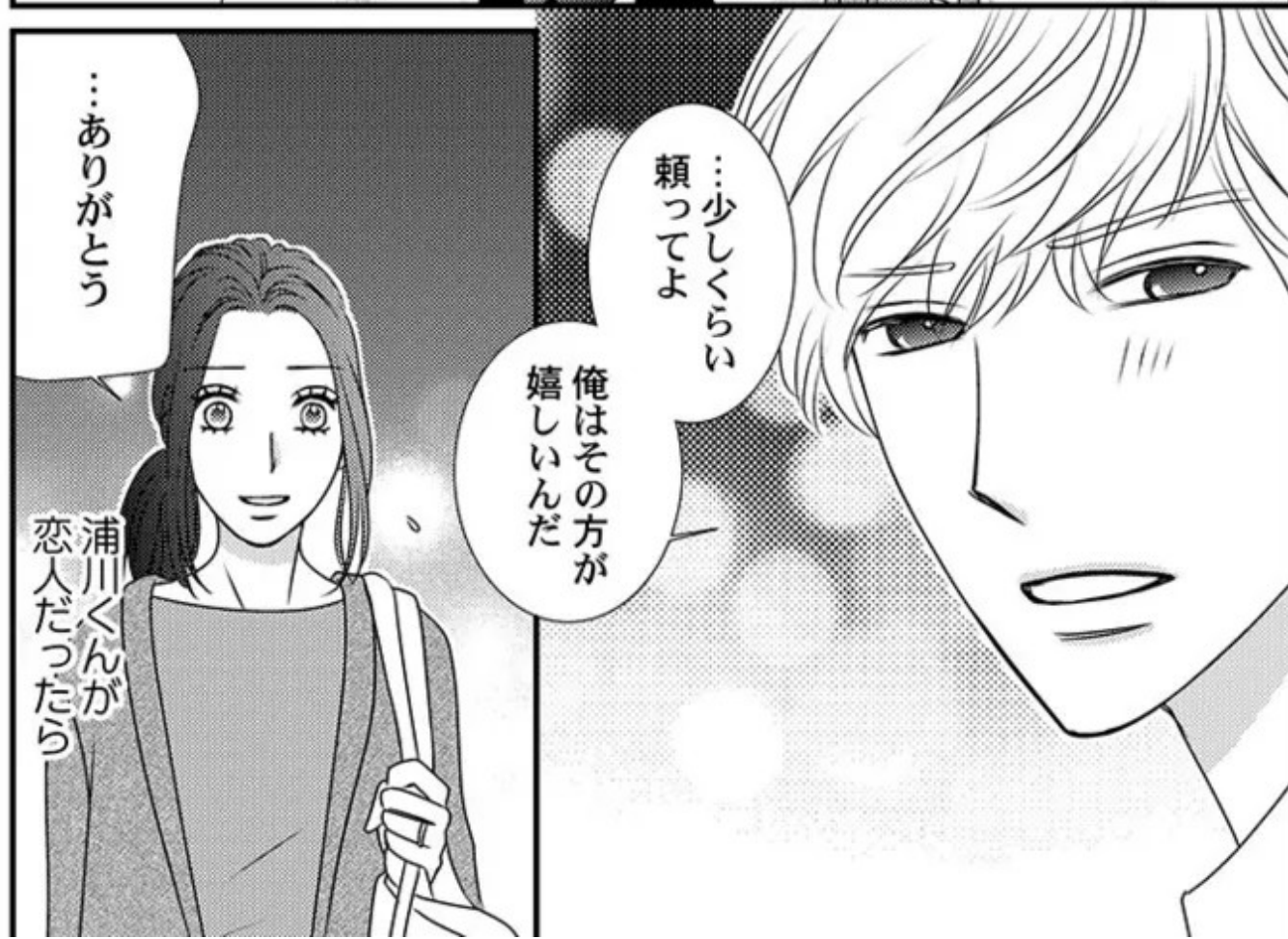
清史郎さんに
家族がいた？！

彼の
愛しかたが
異常なのは

継母を
愛してるから？！

だから
離婚しろだ
なんて…？！





こんなに
不安に
なることは

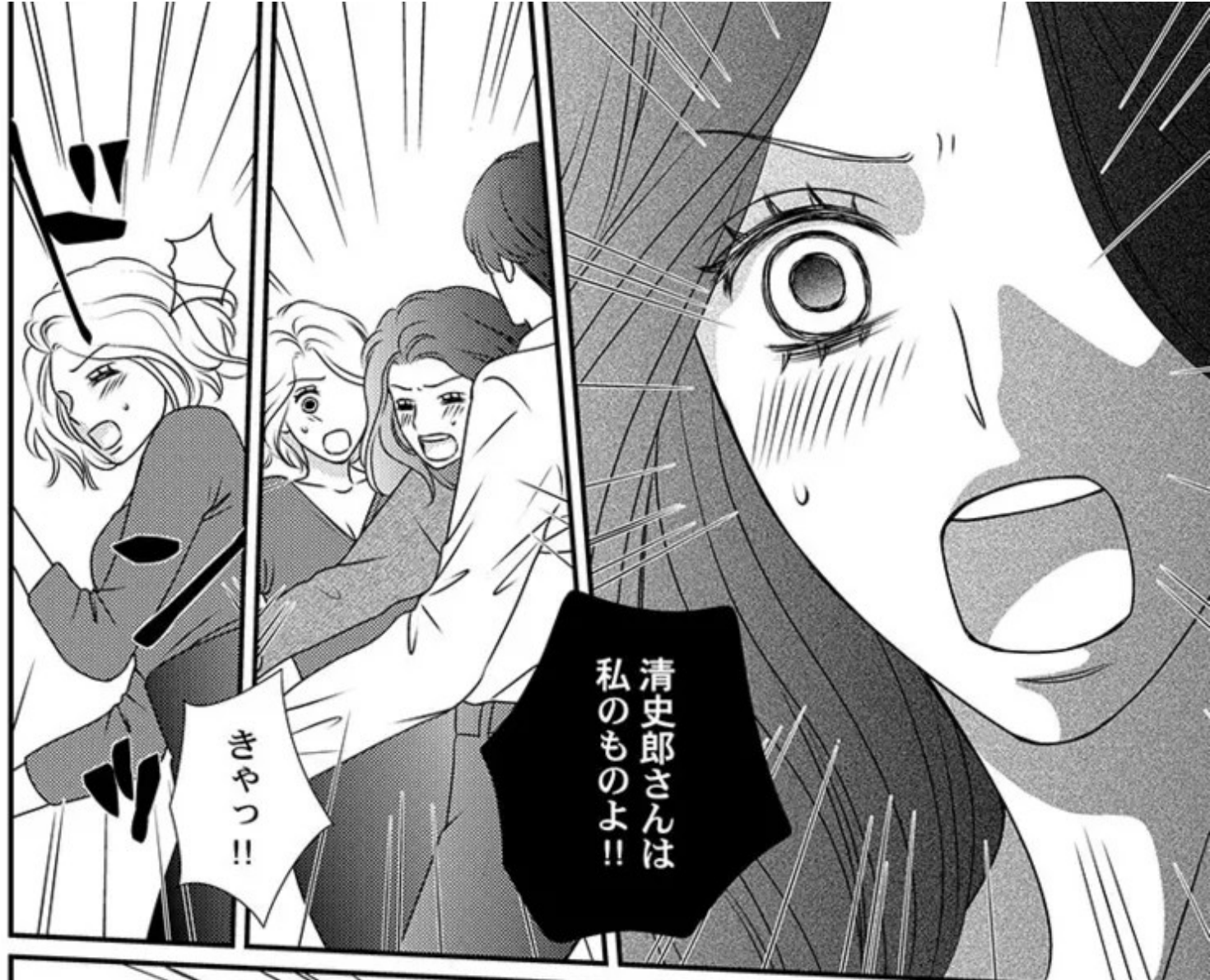
なかったの
かな！

ありがと
お疲れ様

ただい…

ま…





清史郎さんは
私のものよ!!

きゃっ!!



ねえ
そうでしょう?!

真琴
聞いてくれ
これは

清史郎さん?!

真琴

頼むから
話を

ねえ?!

ねえっ!!



『タシモ』



これは

『タシキョー』…



『君は俺のものだ』

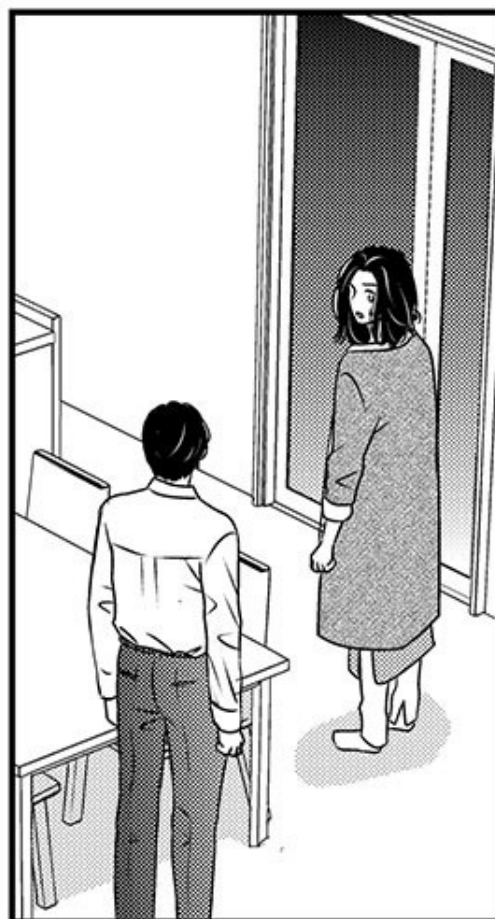


この感情は

清史郎さんの…
愛し…方…?









この写真の
話も…
聞いた？



あなたは…
彼女を…

愛して…
るって…



…あの人は
継母で…

あなたに
家を継いで
ほしいと…



そうか…





彼女を…
愛してるの…?!



あの人の話は
本当なの？



…隠していて
すまなかった
彼女の話は
本当だ

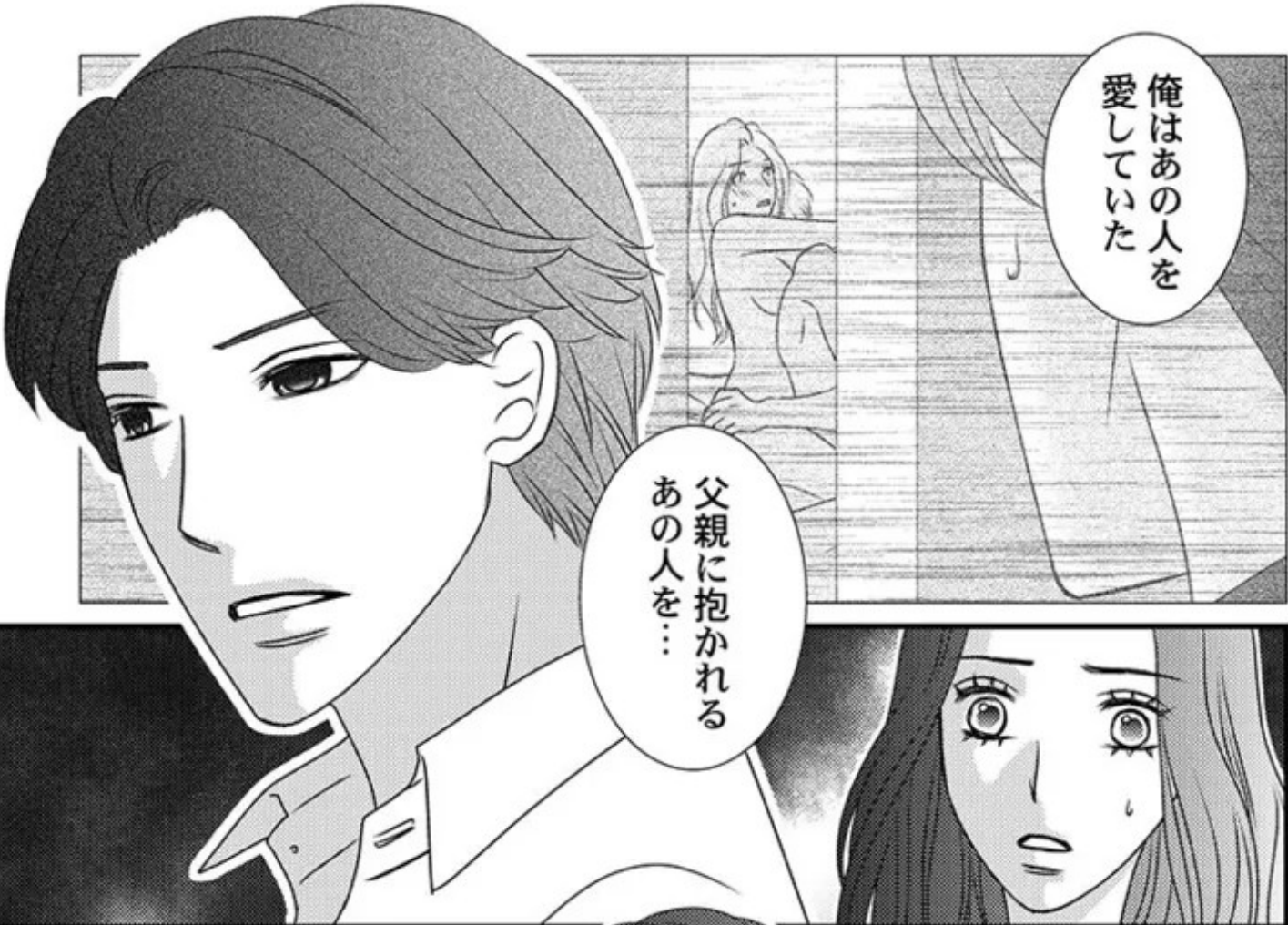


俺はあの人を
愛していた
父親に抱かれる
あの人を…

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

第 5 話



俺はあの人を
愛していた

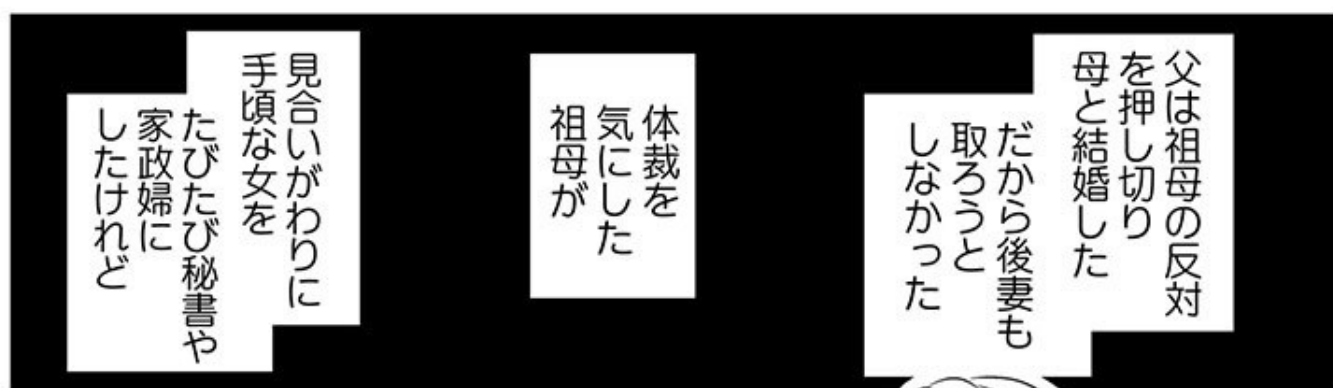
父親に抱かれる
あの人を…



母は俺を
産むと同時に
死んだ

父は
仕事に明け暮れ
家に戻らず

祖母が
俺を教育した
地元の名家の
後継として



ああ……
そうでしたっけ

お勉強
おつかれ
さまです

来年受験
ですものね

煮物の残り
で和風ポタージュ
を作りました

これなら
いただき
やすい
かなって

……財産が
欲しいんですか？

え？

父は家に
めったに
いないし

死んだ母
以外の人間には
興味がない

口うるさい
祖母もまだまだ
死にそうにないし

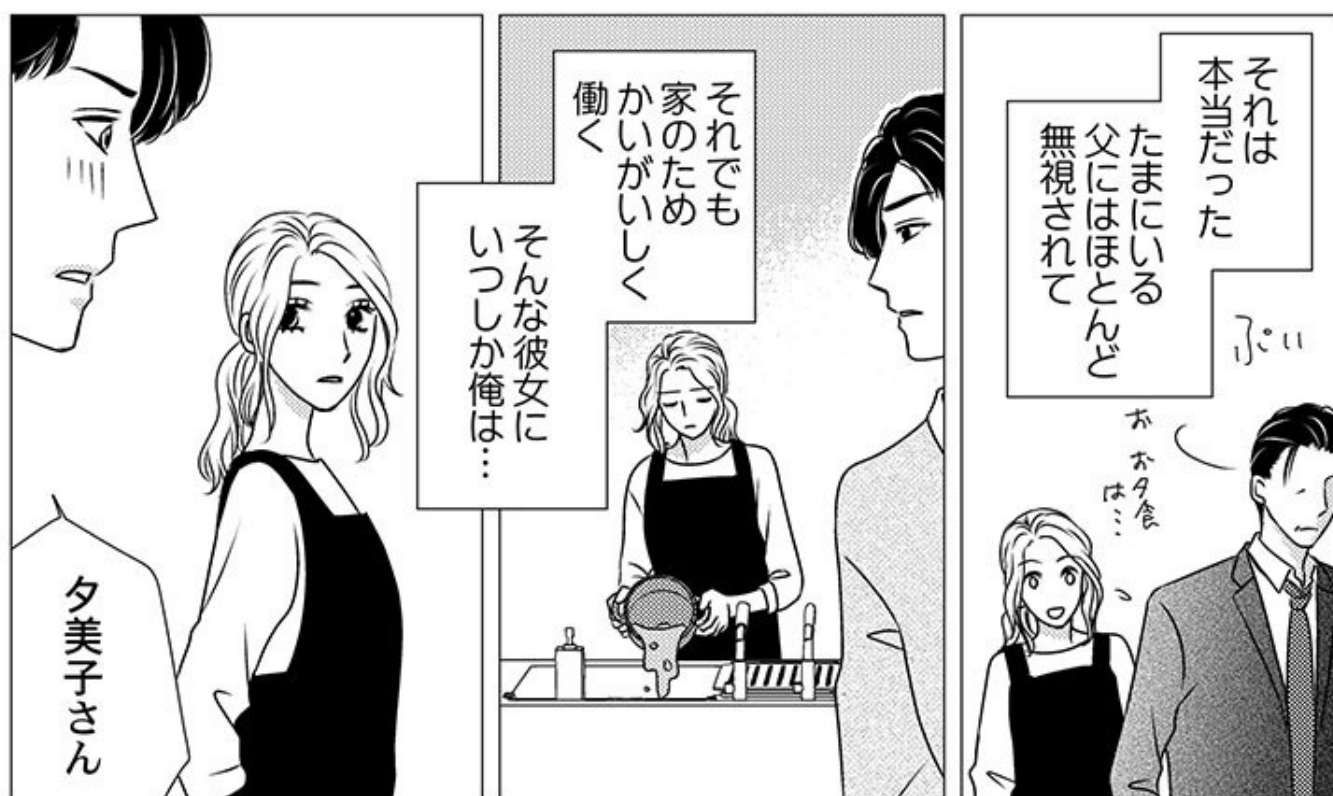
金はあるけども
楽な暮らしじゃ
ないと思います
が……

……とんでも
ない

私は本当に
ゆういちろう
雄一郎さんを……

お父様を
お慕いして
いるのです

……一方的に
ですけれど



俺……
夕美子さんの
ことが
好きです

せ
清史郎くん？

俺なら

俺なら
幸せにします

だから……

……おい

何
やって
るんだ

あだ
旦那様





…俺の妻に
してやろう

だ
旦那様!?

え!?

どうした?
嬉しくないのか?
俺の妻に
なりたかったん
だろ…?



え…!?



：俺は父に
憎まれて
いたんだ
愛する女を
奪った
存在として

だから父は
夕美子さんを
妻にした

俺が愛する女を
俺から奪う
ためだけに

清史郎さん
お夜食よ

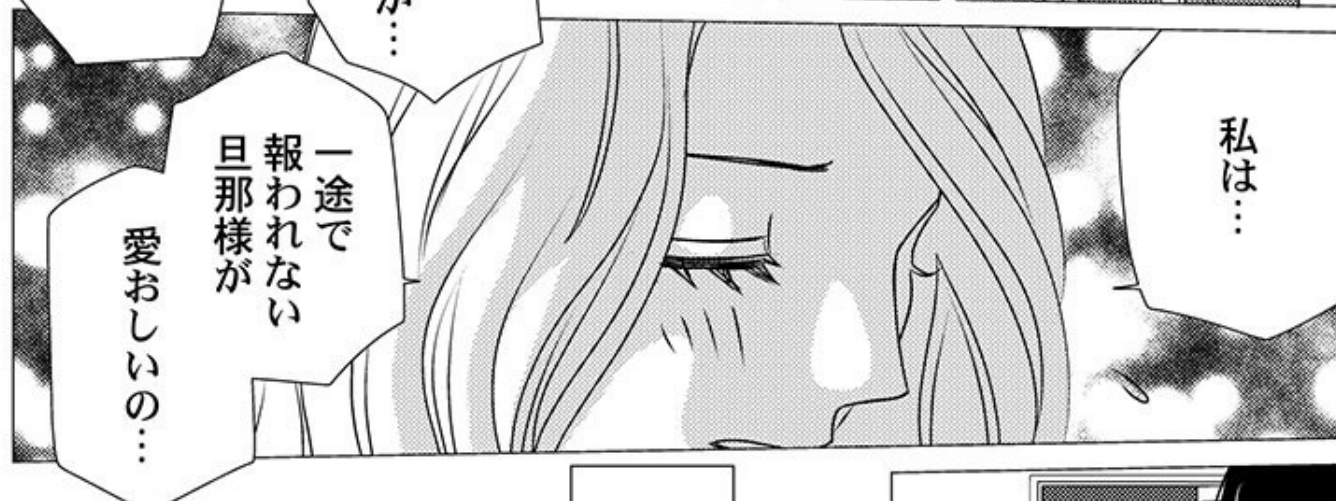
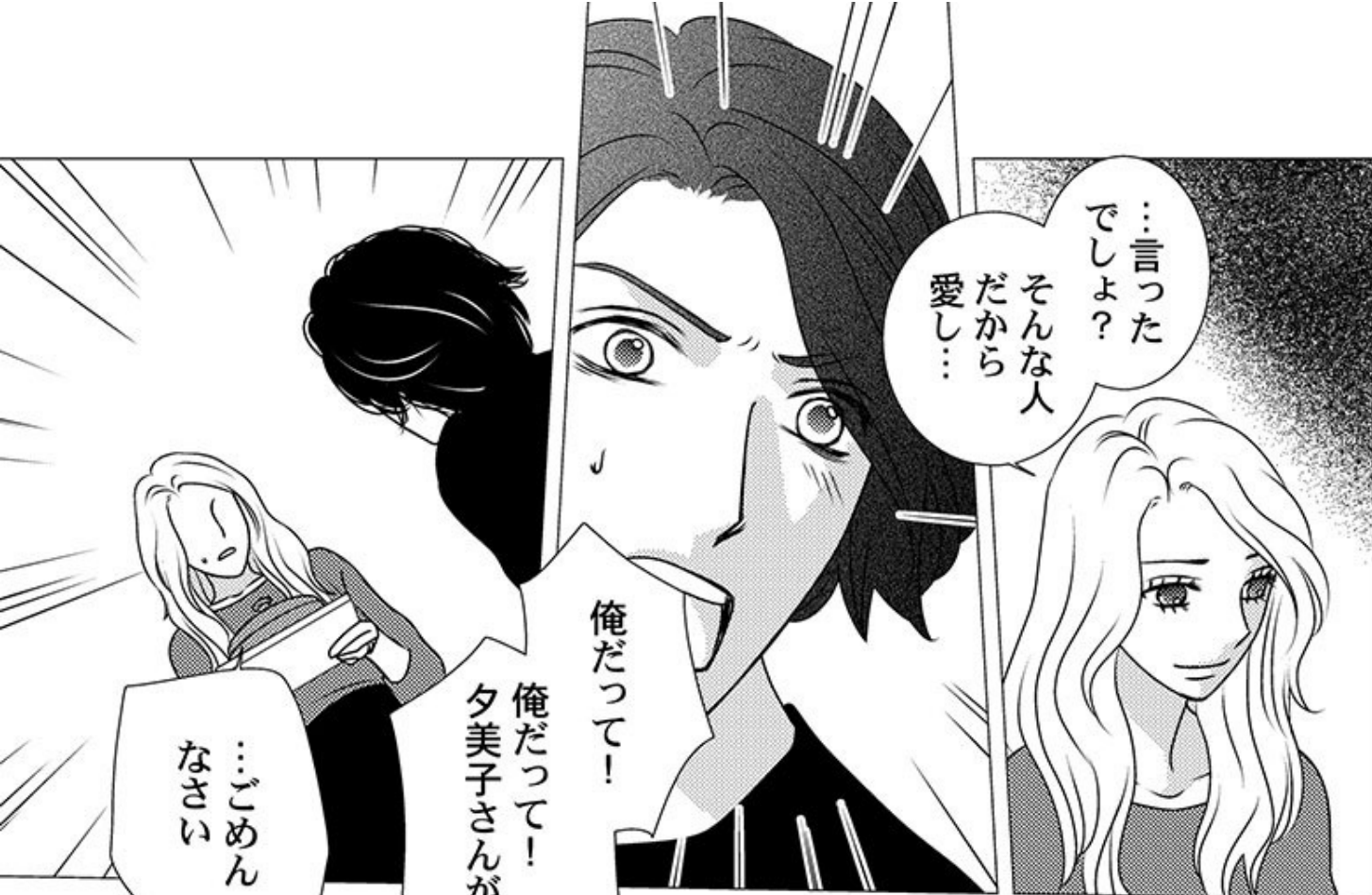
：夕美子さん

もういいって
言っただろ

あなたはもう
家政婦じゃない

でも清史郎さん
また食事を
食べなくなつ：

あのひと
父さんは
死んだ母しか
見てないよ？



夕美子さんを
抱くために

だ
旦那…さまっ

だ…だめっ
まだまだ
清史郎くんが
起きて…

いいじゃ
ないか

聞かせて
やればいい…

俺から
彼女を
奪うため
だけに…

見ちゃ
ダメだ

ダメなのに…

はあ…

父は
死んだ母を

夕美子さんは
父を

そして俺は

夕美子さんを…

はあ…

…狂ってる…

こんなの…



夕美子さんを
傷つけるな!!

やめろお!!



愛してる…!!

俺の方が
ずっと

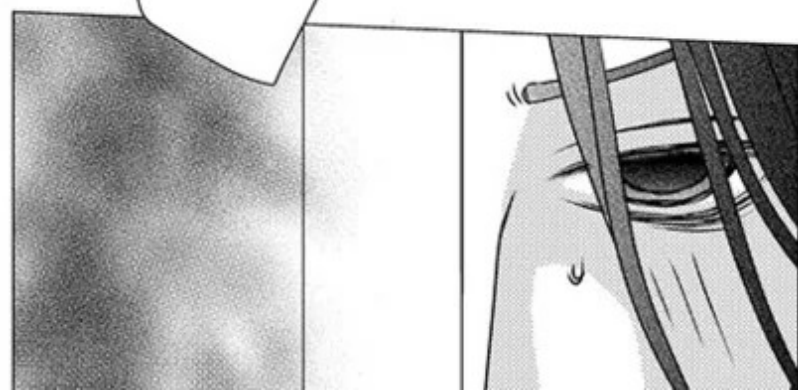


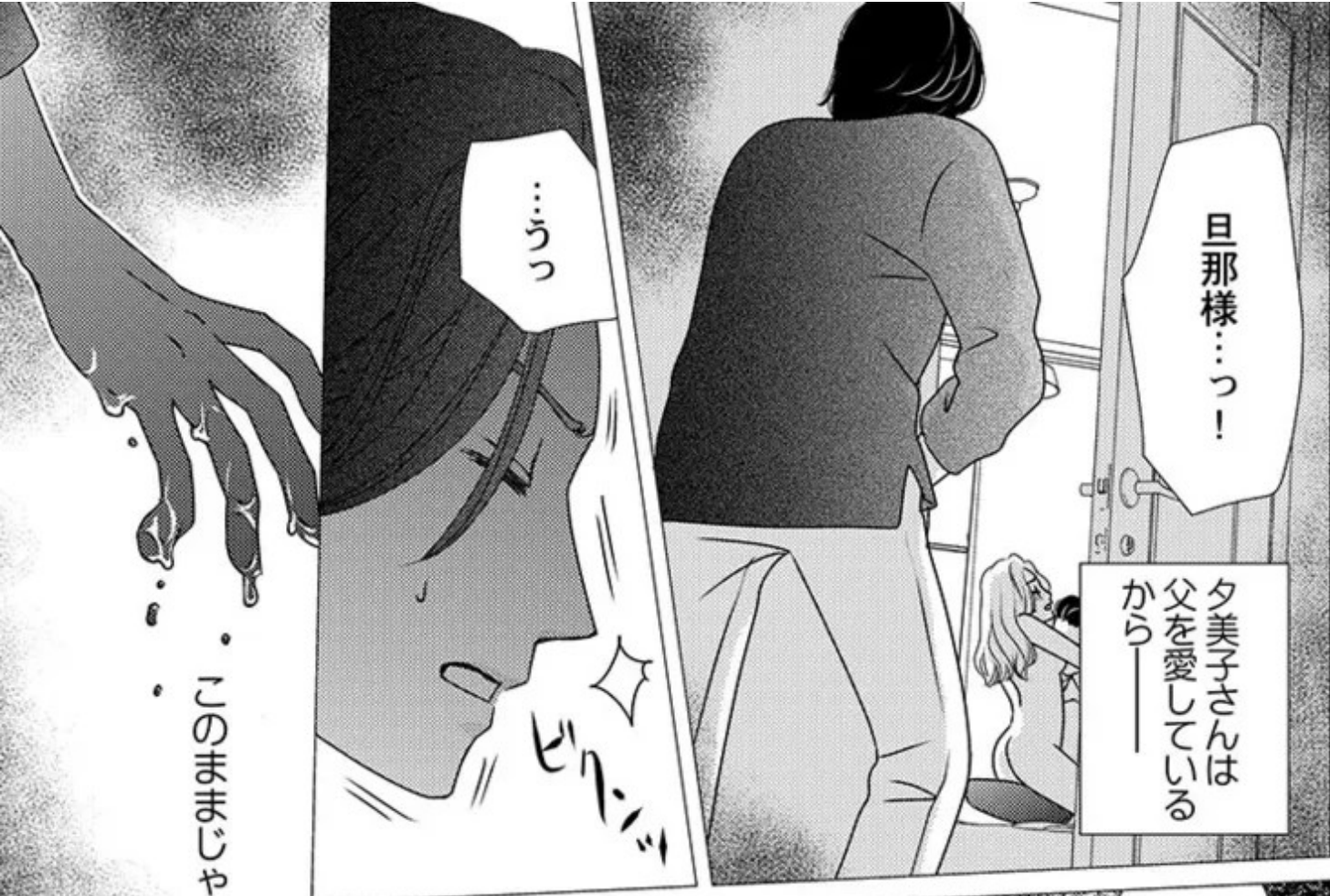
愛してるんだ

夕美子さん…!!

俺は…父から
夕美子さんを
奪う…

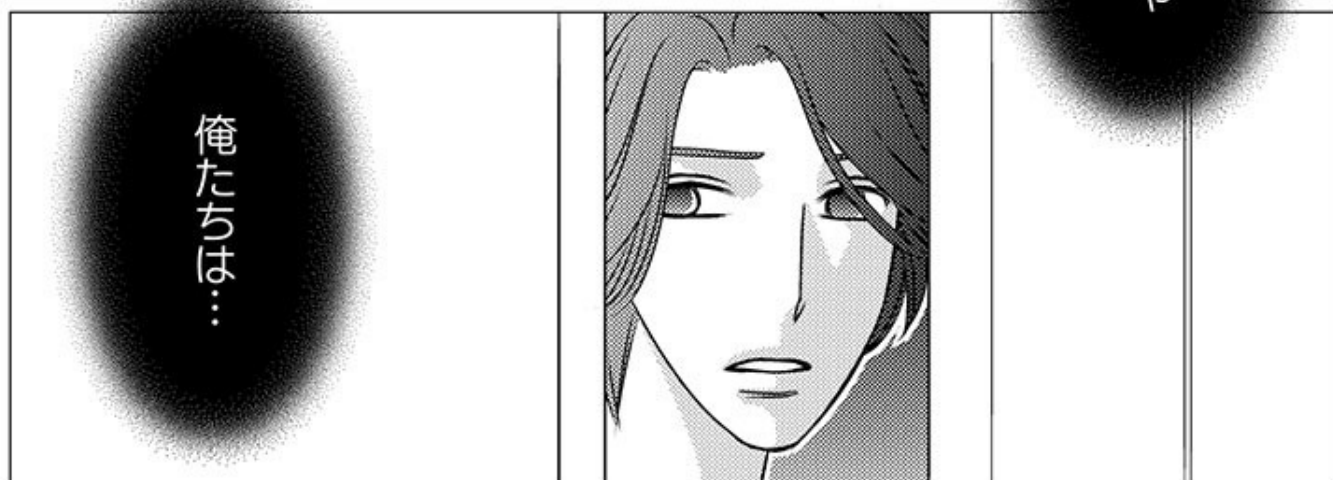
…妄想をする
しかなかった…



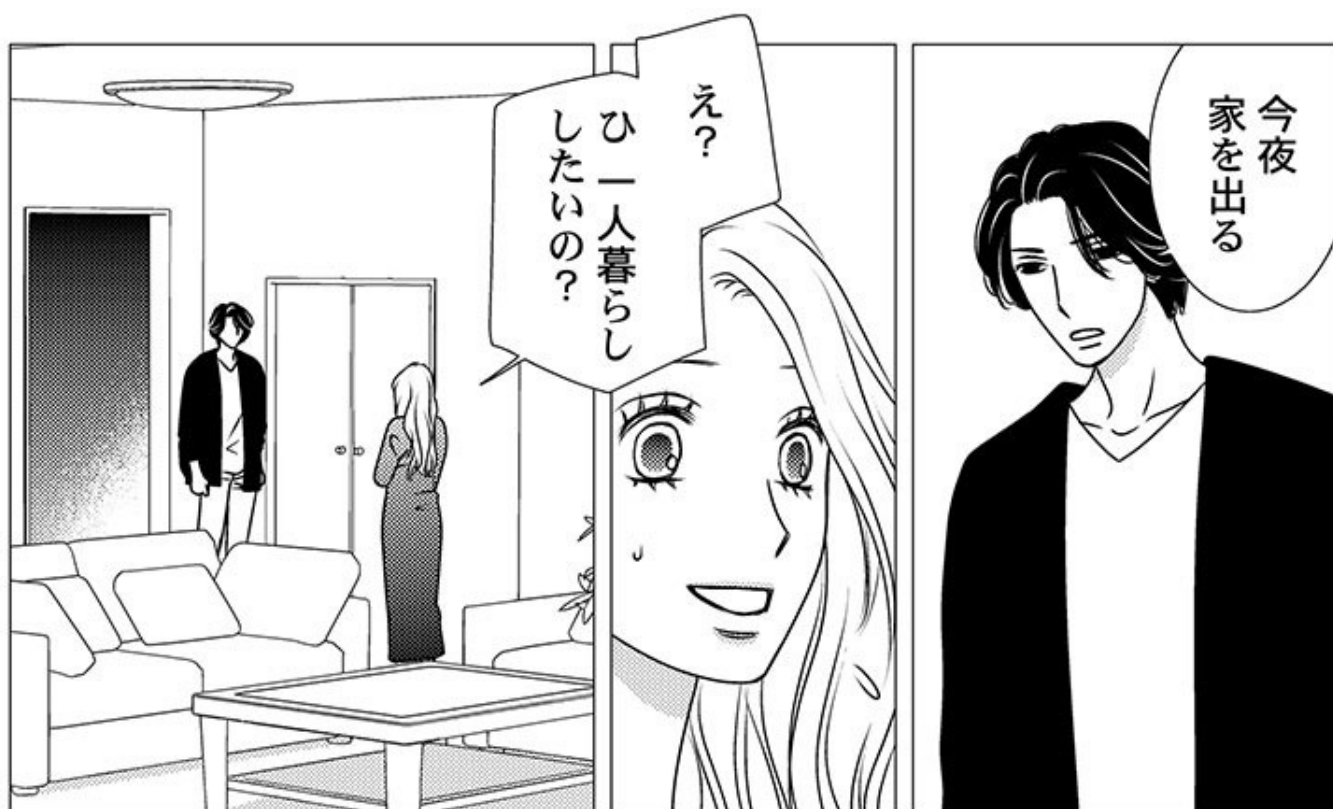




このままじゃ



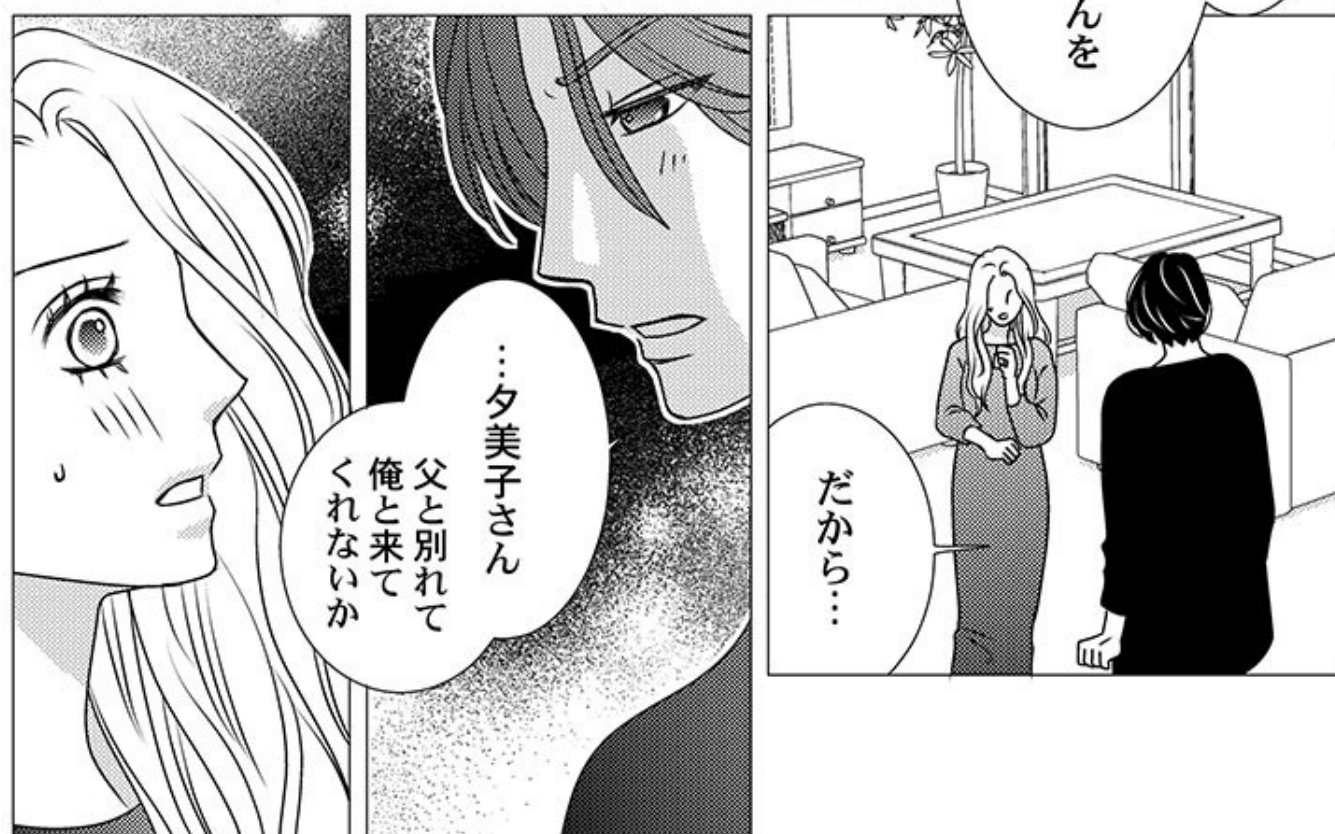
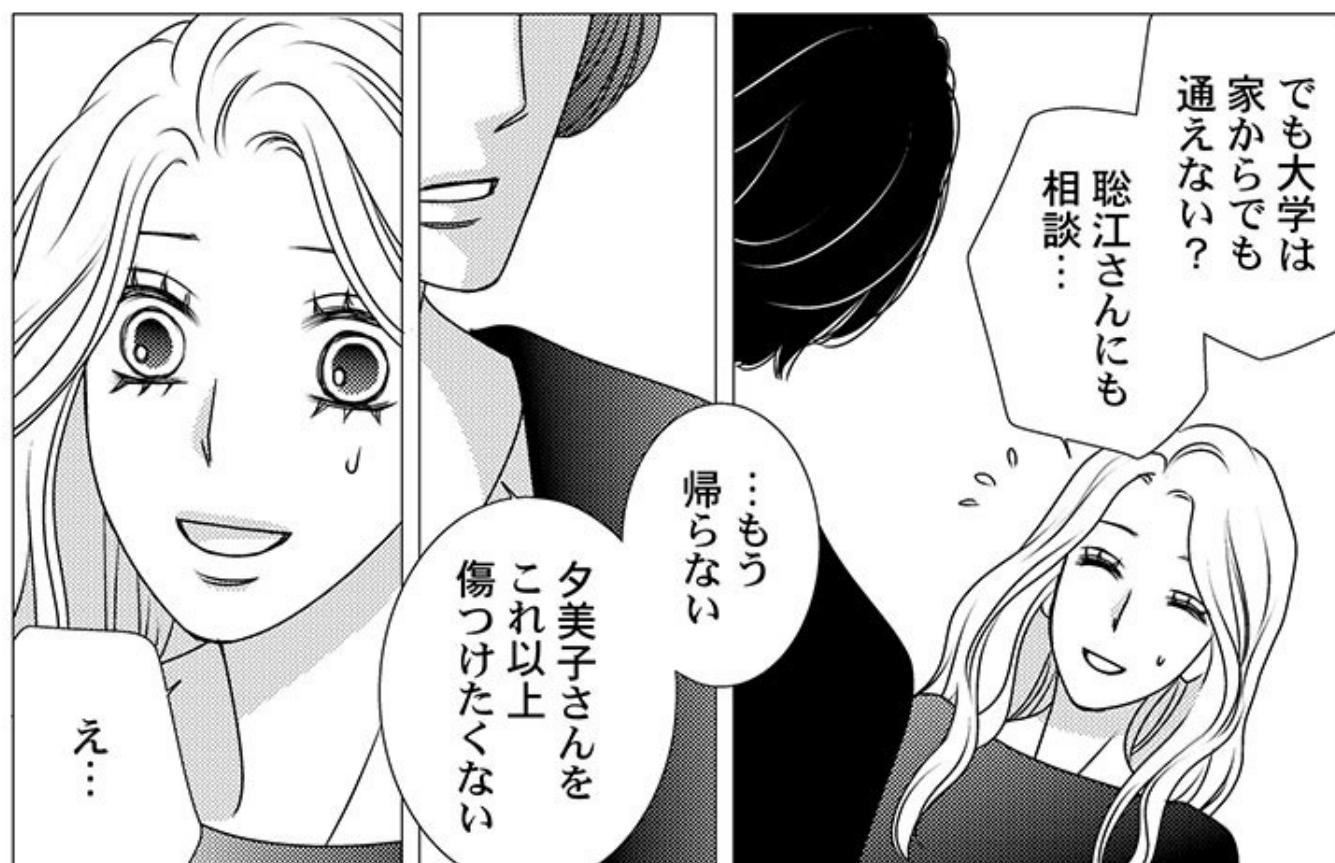
俺たちは…



今夜
家を出る

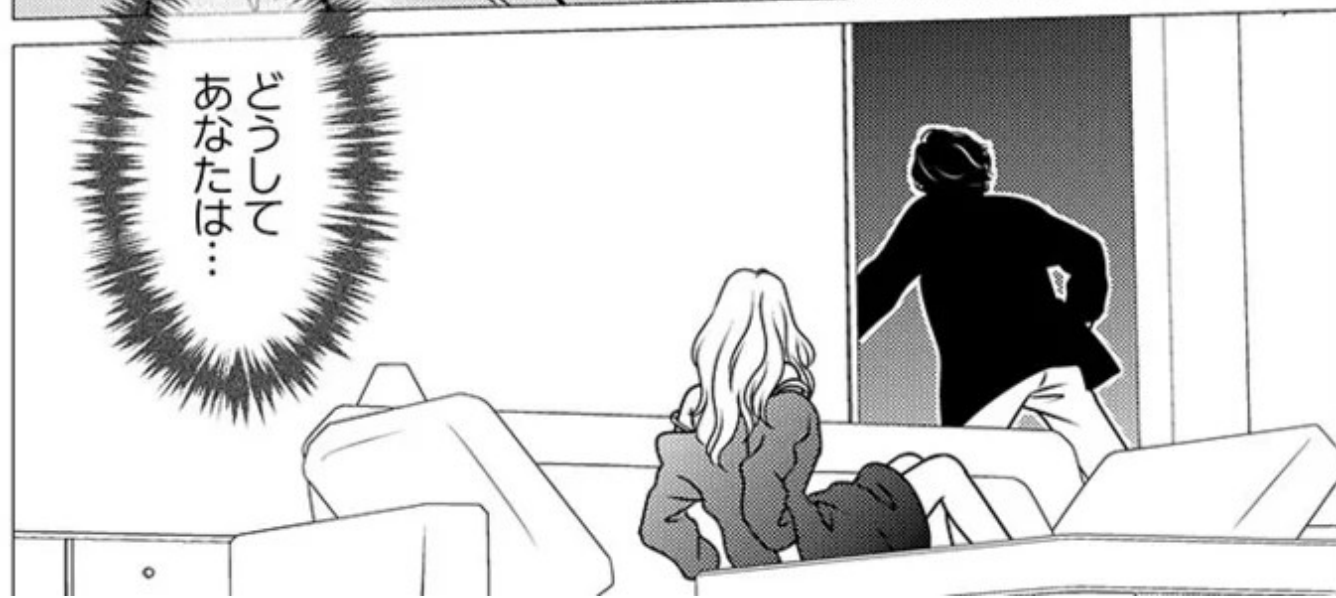
え？

ひ一人暮らし
したいの？









清史郎くんっ



それ以来

俺は
狂ってしまった

愛する人が

奪われないと

欲情
しないんだ…

でも
それって

本当に愛して
いるのかな？



だって
そうだろう？

他の男の
ものに
ならないと

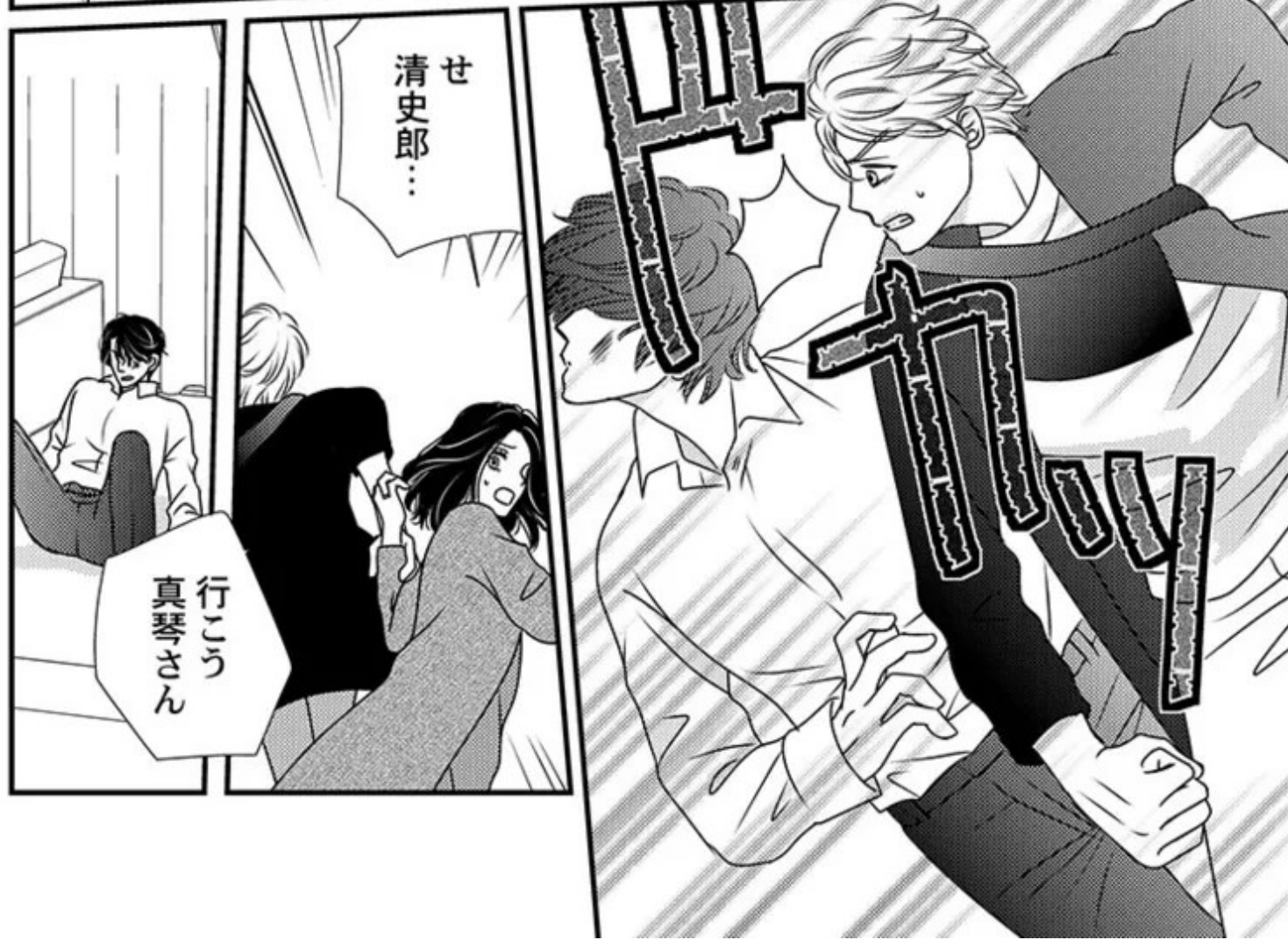
欲しいと
思えない
なんて

たとえ
それで

君を
傷つけても…









？
浦川く…



…送ってくれて
ありがとう
もう
大丈夫だから…



だから
もう
ひとりで
泣かないで…



もう嘘を
つかないで
俺が
守ってあげる



!?



あ…っ

ぽろっ

こんな風に
愛されたかった

ただ素直に

求められ
たかった

清史郎さん…



僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

第 6 話

俺が
守ってあげる

だから
もう
泣かないで…

こんな風に
愛されたかった

ただ素直に
求められたかった

だけど…

…ごめん…

…どうして

どうしてわかって
くれないんだ…!!

俺なら…

幸せにして
やれるのに…

ごめん…



ただ
誰かを
愛してる
だけなのに

傷つけあつて
ばかり…

まだ
傷つけて
しまった



預けておいた
離婚届だけど
出しておいて
くれないか

すまなかった

『預けておいた
離婚届だけど
出しておいて
くれないか』



ひとり
生きていく

誰かを
傷つけるの
なら



離婚届

伊岡 清太郎

伊岡 真琴

『すまなかった』

『さよなら』



誰も
愛さないほうが…

…出さなきゃ
離婚届…

思いつつ
1週間も
経って
しまった

今日はもう
疲れたし
明日…

…バカだな

こんなもの
大事に
持ってた
ところで

清史郎さんが
私を求めて
いないのは
かわらない

自信が
ないんだ

君を
愛して
いるのか

私はもう
愛されて
いない…

離婚届

…本当に
愛して
ないの？

もしかして
また私を
守ろうとして…

…バカだな
私

まだ
そんなこと…

確かめる
すべも
ないのに

だって
彼はきっと
教えてくれない

本当の
気持ちを

私の幸せの
ために

清史郎さん…

そんな
ところに
惹かれた

だけど



もし彼が
愛してくれて
いたとしても

私を求めて
くれなければ

彼のそばには
いられない



浦川くん

この間は
ごめんなさい



でも
早くない？

納期は
来月末まで…

これで
俺とやってる
仕事

1回全部
終わるよね？



B社の案件
明日までには
できるんで
送ります

え？あ
ありがとう



いや…
俺こそ

電話しよう
と思ってたんだ

ちよつと
時間を
くれませんか

え…

俺…

あいつが
真琴さんを
幸せに
しないから

奪って
幸せに
したかった

だけど
真琴さんは

俺を
求めてない

俺が
奪えるもの
なんて

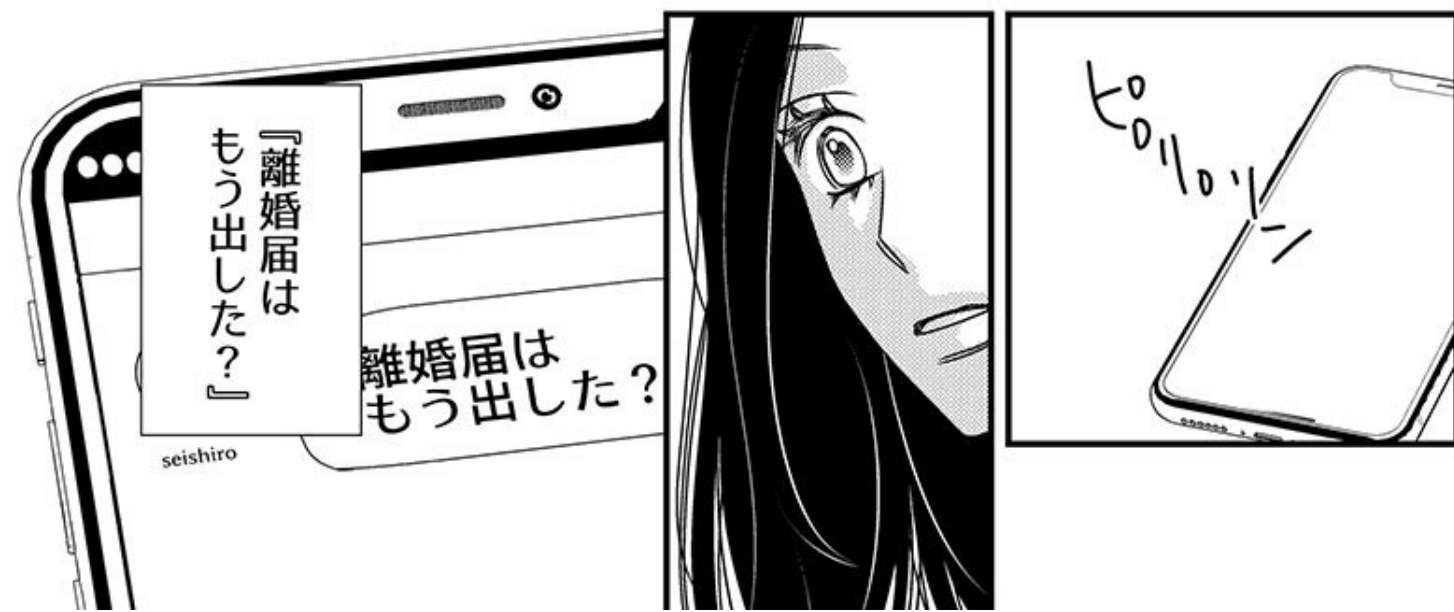
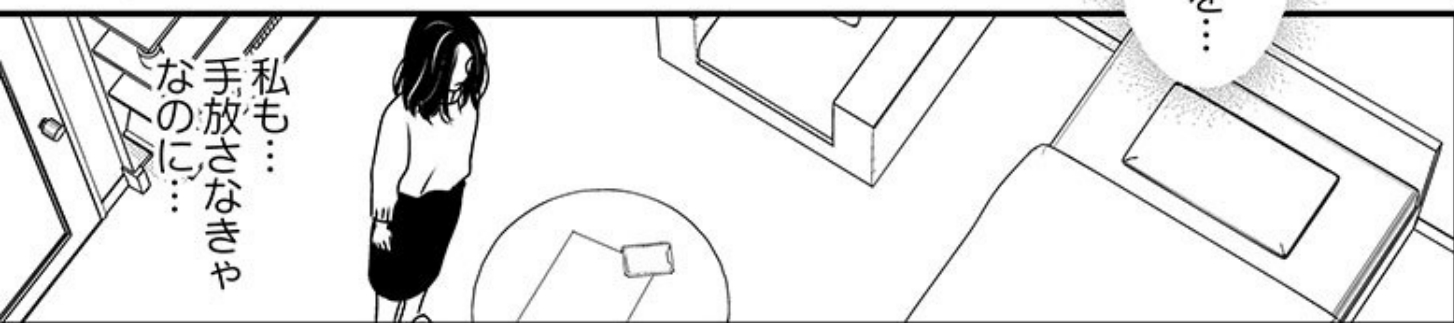
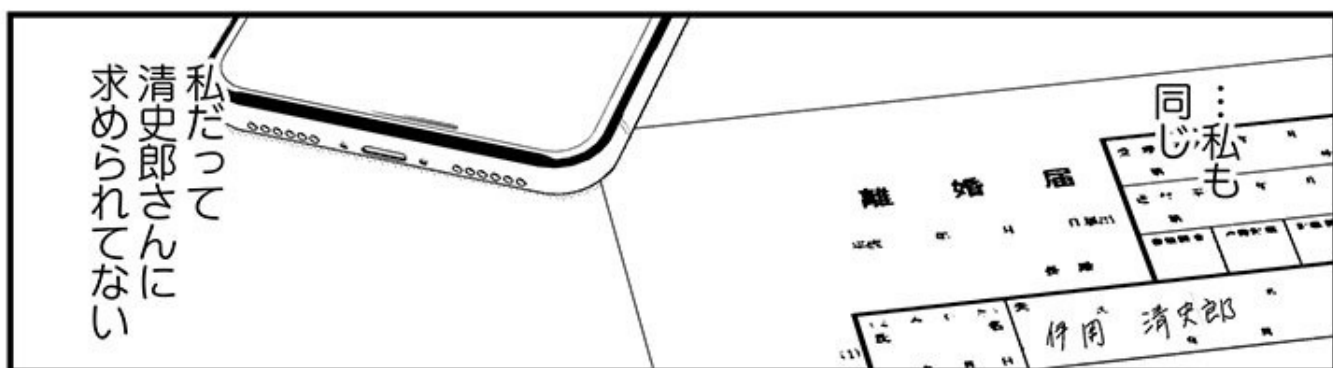
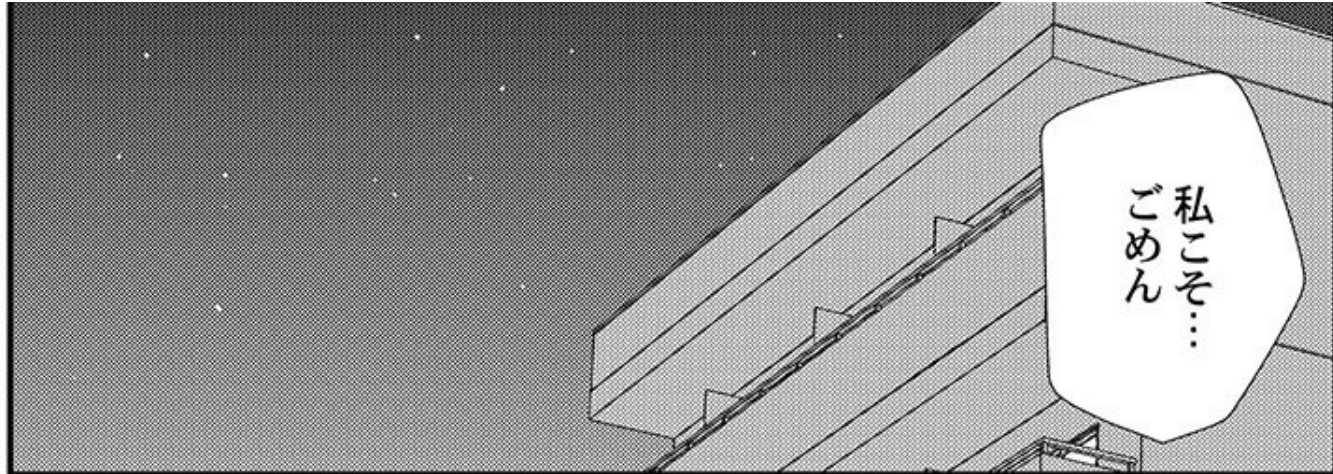
何もなかつた
んです

少し頭を
冷やし
たいんで

時間を
ください…

すみません
でした

浦川くん…



清史郎さん…

『いつから私を愛してなかったの？』

『もしかして最初から？』

『もしかして最初から？』

ああ
もう

こんなこと聞いてどうす…

『もしまだなら』

『一緒に出しに行かないか』

もしかして最初から？

既読

makoto

もしまだなら一緒に出しに行かないか

seishiro

…え…

『はい』

はい

既読

…これで最後だから



最後に
するから…

こんにちは

夕美子さん？

ごめんなさい

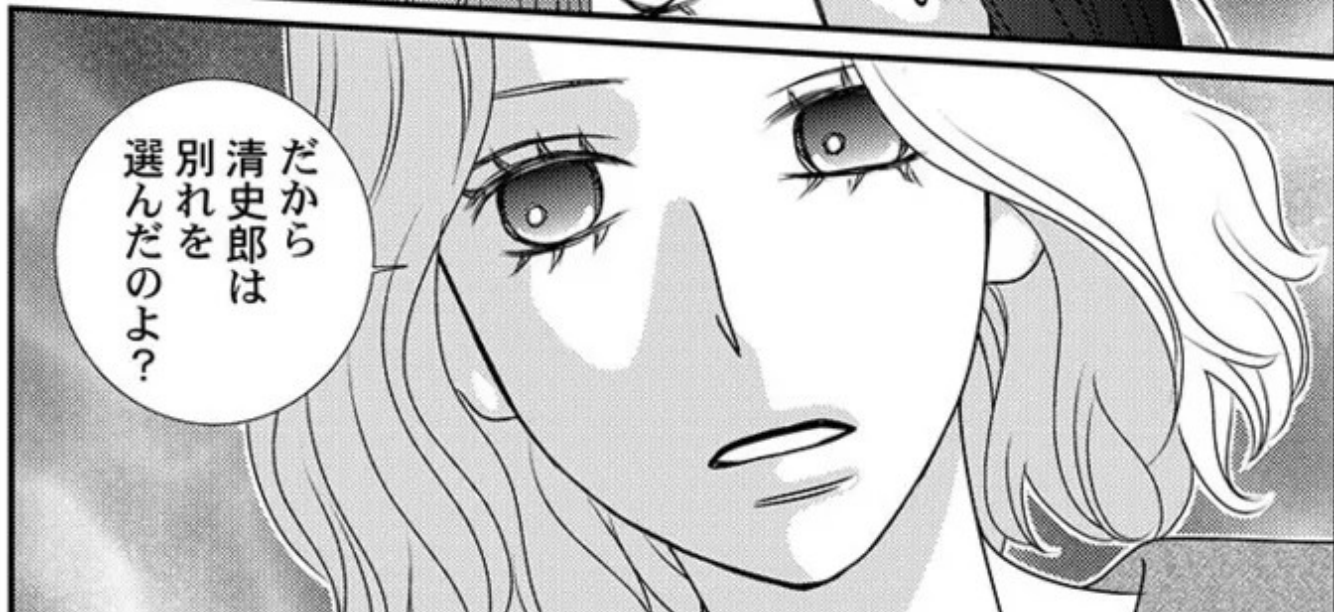
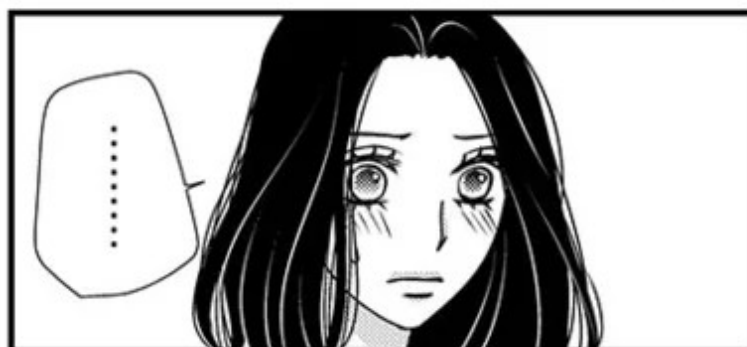
今日
あなたを
呼んだのは
私

清史郎の
ふりしてね

え…？

離婚届
持ってきて
くださった？

え
あの





あなたは
どうするの...?



確かに
そうなのかも
しれない

私たち



さあ
早く
離婚届を
私に...

やっぱり
別れた
ほうが...



待ってくれ!



…いいや



どうして…

私に任せれば
よかったのに…



清史郎さん!?



これは…
俺と真琴
ふたりだけ
の話だから



…あなたが
羨ましいわ

そんな風に
誰かを
求められて…



…清史郎くん
よく
考えてね

何が一番
大事なのか





…あなたが
何を考えて
いるのか
わからないまま
別れるほうが
こわいわ…!



怖くないの?

また
傷つけるかも
しれないよ?



君はいつも
俺の本心を
知りたがるね



俺なりに
完璧を演じて
きたけど



…わかったよ
全て話す



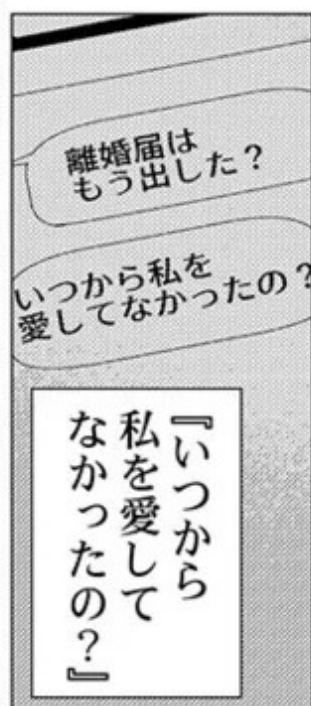
ずっと
自信が
なかった

こんな歪んだ
性癖の俺が君を
幸せにできる
のかって

案の定…
君を奪われそうに
なって

衝動を
抑えられ
なくなつて…





真琴に…
会いたくて…

…狂ってる
よな

俺を…
狂わせたもの
の正体が…
君に出会って
わかったんだ

自分を
無視し続けた
せいで

本当に
欲しいものが
わからなく
なってたんだ

真琴は…

俺の異常な
性癖もきっと…

どんなに
傷ついても
本当の俺を
探してくれた

だから
俺は…

これ以上
本当の気持ち
を無視できない



君が
欲しい
愛して
いるんだ

これが…
俺の本心だ



許され
ないのは
わかってる

だからどうか
拒絶して
くれないか
こんな…
一方的な
欲望を…



君から何も
奪えないと
わかれれば
君から
離れられると
思うんだ



そうすれば
もう傷つけ
なくてすむ…

すまない…



ずっと求めて
ほしかったの

あなたに

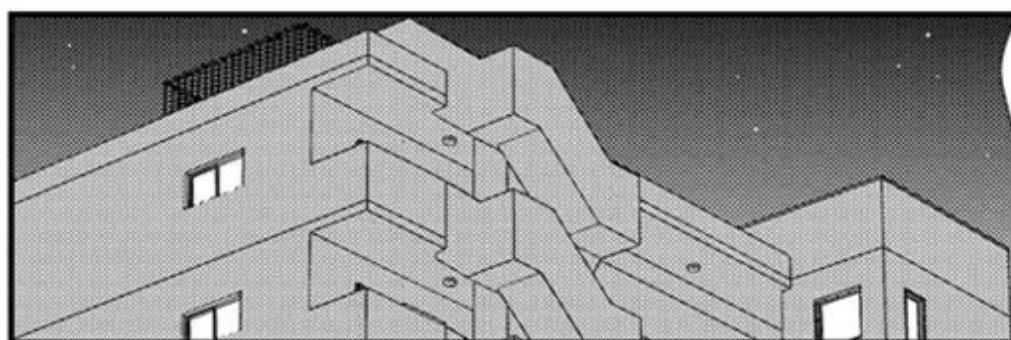


愛してる
から...





俺が
奪いたい
君の
全てを…



愛して
いるから
全て
奪いたい



たとえ
無理だと
わかっていても
願わずに
いられない





それほぐし

せ…
清史郎さん

あなたを
愛している…

私…
もう

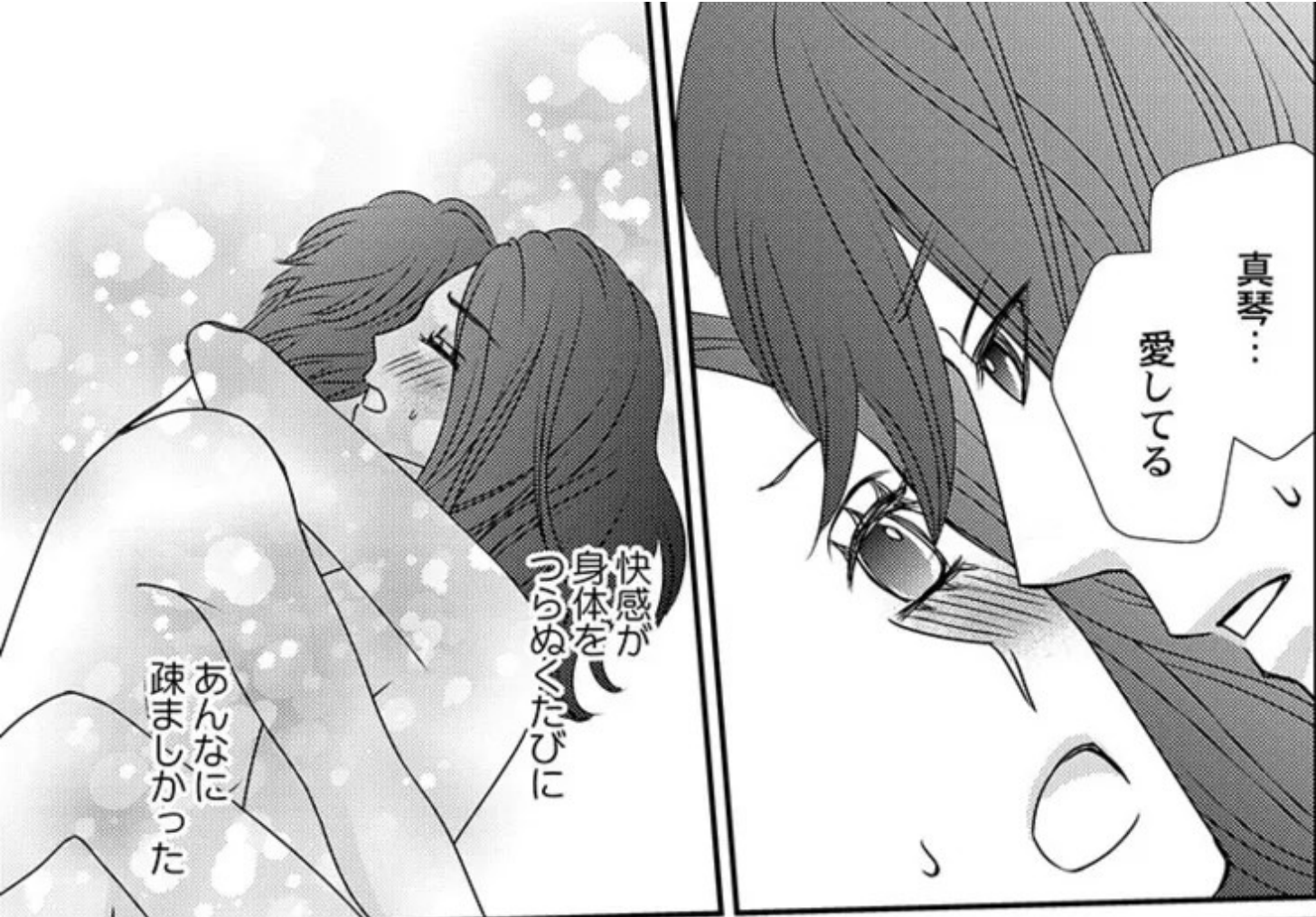
…俺も

真琴が
欲しい



…あつ

あああああつ…!!



真琴…

愛してる

快感が
身体を
つらぬくたびに

あんなに
疎ましかった



女であることが

悦びになる

愛する
あなたが

私を
求めて
くれるから

愛してる…



僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情
《合本版》

著者 ひなたみわ
発行 COMIC維新

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

甘くて苦い、眩暈に踊れ。



サロマニカ

